

令和4年度事業報告

1. 総括

令和4年度も、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、感染予防に充分留意しながら事業の推進に努めた。

令和4年度から始まった重層的支援体制整備事業では、移行事業から本格実施となった「アウトリーチ等を通じた継続的支援事業」「参加支援（人や場所とのつながり支援）事業」「共助の基盤づくり事業（支え合いの地域づくり支援事業）」「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」を受託し、より住民に寄り添った相談支援を実施した。

小地域福祉活動の推進においては、新型コロナウイルス感染予防に配慮をした取り組みを実施した。特に校区社会福祉協議会（以下「校区社協」）では、様々な工夫を取り入れた活動が実施された。また、民生委員児童委員の改選に伴い、新たに85人が委嘱をされ新任研修を実施し、活動がスムーズに行えるよう支援を行った。

介護保険事業等においては、それぞれの事業所で引き続きコロナ禍の影響を大きく受けたが、工夫を凝らし事業を運営することができた。コロナ感染者等へのサービス提供にも努め、訪問介護事業従事者の労働条件の向上を図り利用者が感染をされても継続的に訪問を実施した。

本会の法人運営の基盤強化を図ることを目的とした、糸島市社会福祉協議会第1次発展強化計画（令和5年度～令和7年度）の策定に向けた取り組みとして、総合職員を中心として、社協の使命や経営理念に関するワークショップの開催や、①事業強化ワーキンググループ(WG)、②組織強化WG、③財務強化WGによる、現状把握と社協の強み・弱み・課題の抽出を行い、経営戦略や具体的な取り組みを検討し策定に向けた協議を重ねた。

（1）小地域福祉活動の推進

小地域福祉活動の推進では長引くコロナ禍での活動となるため、感染予防を図り地域の中で様々な工夫をして取り組みを実施した。

校区社協の取り組みでも少しずつではあるが、コロナ禍以前の活動に戻りつつあり、高齢者をはじめ地域で支援を必要とする方が安心して生活できる環境づくりに努めた。

また、福祉委員の活動に関するアンケート調査を実施して、福祉委員活動の実態把握や情報共有を行い、福祉委員や民生委員児童委員で共有することができた。福祉委員活動は地域によって様々であることを再度把握でき、地域ごとの活動を市全体で共有することで、福祉委員活動の活性化につなげた。

ふれあい生きいきサロンの推進では、活動紹介冊子を作成して地域で活動される方々へ配布することにより、サロン活動の活性化や新たな立ち上げを検討される方への支援に努めた。

(2) 重層的支援体制整備事業の推進

令和4年度より重層的支援体制整備事業として、移行事業から本格実施した、多機関の協働による包括的支援体制構築事業を受託し、相談機関のネットワーク化に向けた取り組みや、重層的支援会議及び支援会議の調整等を行った。

多機関の協働による包括的支援体制整備事業と参加支援事業、アウトリーチ等を通じた継続的支援事業が連携し、月1回の情報共有会議を開催して相談者の自立支援に向けた支援となるように努めた。

また、地域づくり事業として、子育て支援団体との連絡会議を開催し、それぞれの活動の情報共有や地域で困りごとを抱える方への支援が行えるよう「つなぐシート」を作成し連携の強化を図った。

我が事・丸ごと研究大会では「若者とかたろう 私たちの未来(あした)～世代を越えた声よ集まれ～」をテーマに、若者が主体となって活動している団体と、活動内容・思い等を共有し、世代を越えて意見交換を行い、それぞれの活動に活かすことができた。

(3) 地域福祉活動計画の推進

第2期糸島市地域福祉活動計画の期間を、上位計画である糸島市長期総合計画

に合わせ 2 年間延長するとともに、社会福祉法の改定に伴い、重層的支援体制整備事業や成年後見の推進に関する内容を取り入れ改定を行った。

計画の推進については、それぞれの分野ごとに年次計画に合わせて事業を遂行し、推進委員会において進捗状況の報告を行った。

「相談支援ガイドブック」については、策定に向けた協議を重ねた。令和5年度内に完成し、地域の相談支援者や関係機関へ配布する予定である。

(4) 地域ささえあい会議の充実

地域ささえあい会議は、生活支援体制整備事業と共助の基盤づくり事業共通の取り組みとして各校区社協で実施しているが、第 2 層生活支援コーディネーター及び第 1 層生活支援コーディネーター、市役所職員と市社協コミュニティソーシャルワーカーが運営支援にあたり、地域課題の把握を行い解決に向け、新たな取り組みについて協議を行った。

協議内容は、高齢者に限らず幅広く地域の課題が取り上げられ、それぞれの校区の実情に応じた会議が開催された。

(5) ボランティア活動、福祉教育の充実

ボランティアセンター事業では、市民のボランティアに関する啓発やボランティア派遣等のコーディネートを行い活動を支援した。

また、市民向け講座として災害時の対応講座を開催し、日頃からの災害に備える意識付けとなる講座の開催ができた。

「いとしま Fun2022」では、テーマを“防災×学び”とし地域住民やボランティアなど様々な人たちで、糸島市のボランティア・福祉活動を知ってもらうイベントが開催できた。

糸島市社協ボランティア連絡協議会（ボラ連）では、手をつなぐ親の会との意見交換会を実施して、相互の活動の理解を図り、ボラ連会員が障がい児への理解を深めるとともに、日頃のボランティア活動を伝えることで、協力や交流に向けた関係づくりができた。

福祉教育の充実では、小学校及び中学校、高等学校からの依頼を受けて学校のニーズに応じたプログラムを実施した。

福祉教育の内容についても、引き続き福祉教育プログラムの検討を行い、次年度には策定できるように取り組んだ。

(6) 権利擁護事業の充実

権利擁護の充実では、判断能力の低下により日常生活に支障がある人の相談が年々増加し、必要に応じて日常生活自立支援事業や成年後見制度を紹介した。

また、日常生活自立支援事業では、市民後見人養成研修修了者による市民支援員としての活動において支援に努めた。

成年後見に関しては、令和4年度から市社協として法人後見を家庭裁判所より1件受任し、市民後見人養成研修修了者が法人後見支援員として支援を実施した。

法人後見に関しては、法人後見運営委員会を開催し適正な法人運営の在り方について協議を行った。

(7) 安定した介護保険事業等の運営

介護保険事業等では、引き続き新型コロナウイルス感染症に充分留意をしながら事業の実施に努めた。職員には福岡県の補助事業を活用し毎週抗原検査を実施し、事業所内での感染拡大を防いだ。

障がい福祉サービスでは、全ての事業所において利用者の増加等に伴い大きく収支の改善ができた。

また、新型コロナウイルス陽性者及び濃厚接触者への訪問サービスの需要が高まったために、感染リスクが高い訪問サービスについては、感染者に対する訪問介護事業従事者の労働条件の向上を図った。

高齢者や障がいのある人への虐待防止や身体拘束等の適正化のため、虐待防止・身体拘束適正化検討委員会を発足して、利用者及び家族に安心して頂けることができる事業所づくりに努めた。

(8) 財政運営の適正化

令和4年度の一般会計資金収支決算は、事業活動による収入8億3,690万円、事業活動による支出7億9,586万円で、事業活動資金収支差額4,104万円となり、施設整備等による支出347万円と全国社協の退職積立金や福祉積立金を含むその他の支出1,050万円を差し引いた当期資金収支差額は2,707万円となった。

収入に関しては、前年度決算比で3,293万円増額し、支出では、前年度決算比で3,543万円増額したが、当期資金収支差額は2年連続プラスで着地した。

収入増の要因として、寄付金の増額や生活福祉資金の委託費の増額、新たな受託事業が追加されたこと、特に障がい福祉サービスにおいて増収であったことが挙げられる。

支出に関しては、福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金と処遇改善交付金で、介護職員の業務手当の改善、パート賃金単価の見直し、常勤パート職を一般職への登用を図ったことで人件費1,391万円を増額した他、物価高による電気料やガソリン代と派遣会社の契約手数料や業務委託費、資器材倉庫や特設窓口を設置する臨時的な支出を含め2,028万円増額した。その他支出では、貸付金支出、助成金支出、コロナ陽性検査費用として124万円の増額となった。

(9) 発展強化計画の策定

糸島市社会福祉協議会第1次発展強化計画の策定にあたり、全ての総合職職員の参画により、ワークショップを開催し、市社協の使命及び経営理念について協議を重ねた。

また、本会が取り組む事業についてそれぞれの事業の強みや弱みについて、事業強化・組織強化・財務強化ワーキンググループで、それぞれの分野ごとに協議を重ね、経営ビジョンや経営戦略をもとに実施項目の検討を行った。

計画策定のために経営基盤強化委員会を開催して、学識経験者や市社協役員による委員会にて審議を行い、令和5年度策定に向けて取り組んだ。

(10) 施設整備

新型コロナウイルス感染症の影響を受けられた世帯へ生活福祉資金特例貸付を行い、生活の維持ができるように相談支援を実施した。その貸付金の償還が令和4年度から開始され、償還に関する相談や、今もなお新型コロナウイルス感染症の影響で生活の維持が困難な世帯への相談窓口として、福岡県社会福祉協議会から受託金を活用して「くらしの相談支援窓口」を新たに整備した。

また、福岡県共同募金会の配分金を活用して、災害ボランティアセンター資機材倉庫及びボランティア活動で活用するスコップや一輪車などの資機材を整備した。この資機材は、糸島市で災害が発生した際に市の要請により、市社協が設置する災害ボランティアセンターにおいて活用する。

また、福岡県内や他県で災害が発生した際にも、資機材の貸し出しを行うこととなる。

2. 法人関係

(1) 理事会・評議員会の開催 理事会4回 評議員会3回 監査1回

【理事会】(定数10人) ※令和5年3月24日より定数11人

開催日	出席	議案事項
第1回理事会 6月9日	8人 監事2人	1 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会令和3年度事業報告について 2 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会令和3年度決算及び監査報告について 3 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会理事候補者の推薦について 4 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について 5 定時評議員会の日時・場所及び議題等について
第2回理事会 1月26日	9人 監事2人	6 令和4年度第1次補正予算について 7 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会定款の変更について 8 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会定款施行細則及び社会福祉法人糸島市社会福祉協議会庶務規程の一部改正について 9 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会経理規程の一部改正について 10 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会虐待防止・身体拘束適正化検討委員会規程について 11 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会新型コロナウイルス等感染症従事手当の支給に関する特別規程について 12 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会理事候補者の推薦について 13 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について 14 令和4年度第2回評議員会の日時・場所及び議題等について 15 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会定款施行細則の一部改正について
第3回理事会 3月16日	10人 監事2人	16 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会定款施行細則の一部改正について 17 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償等に関する規程の一部改正について 18 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会総合職職員の給与に関する規程及び社会福祉法人糸島市社会福祉協議会一般職職員の給与に関する規程の一部改正について 19 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規程の一部改正について 20 令和5年度事業計画について 21 令和5年度資金収支予算について 22 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会理事候補者の推薦について 23 令和4年度第3回評議員会の日時・場所及び議題等について
第4回理事会 3月24日	10人 監事2人	24 常務理事の選定について

【監査】(定数2人)

開催日	出席	議案事項
5月31日	2人	決算監査 令和3年度事業及び会計状況の監査

【評議員会】(定数21人)

開催日	出席	議案事項
第1回評議員会 (定時評議員会) 6月24日	21人 監事1人	1 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会令和3年度事業報告について 2 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会令和3年度決算及び監査報告について 3 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会理事の選任について

第2回評議員会 2月3日	19人	4 令和4年度第1次補正予算について 5 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会定款の変更について 6 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会理事の選任について
第3回評議員会 3月24日	17人	7 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会理事の選任について 8 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償等に関する規程の一部改正について 9 令和5年度事業計画について 10 令和5年度資金収支予算について

(2) 会費

行政区をとおして市民の方々に協力をいただく一般会費（ささえあい費）と行政区長や民生委員児童委員協議会、市役所職員、市社協役員などに協力いただく賛助会費、団体等に協力いただく特別会費がある。

自主財源確保のため、「社会福祉法人への寄付金の税額控除制度」の対象法人として、糸島市から税額控除対象法人証明を受けている。

・会費収入 3,137,145円（参考：令和3年度3,108,732円）

- ① 一般（地域ささえあい費）24,041口 2,404,145円 ② 賛助会費 703口 703,000円
② 特別会費6口 30,000円

（一般100円 賛助1,000円 特別5,000円）

区 分	金 額		
	参考(令和3年度)	参考(令和2年度)	参考(令和元年度)
一般（ささえあい費）	2,380,732円	2,373,770円	2,358,688円
賛助会費	698,000円	727,000円	756,000円
特別会費	30,000円	30,000円	110,000円

(3) 寄付金

寄付金については、香典返し等の減少により厳しい状況が続いている。寄付金増収のために、会費同様に「社会福祉法人への寄付金の税額控除制度」の対象法人として、糸島市から税額控除対象法人証明を受けている。

また、匿名の遺贈寄付が1件7,274,659円あった。

・寄付金収入 91件：10,009,252円

【内訳】

香典返し 63件：1,800,000円

一般寄付 28件：8,209,252円（うち遺贈分7,274,659円）

区 分	参考(令和3年度)		参考(令和2年度)		参考(令和元年度)	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
香典返し	62件	1,561,000円	58件	1,215,000円	76件	2,080,000円
初盆返し	0件	0円	2件	70,000円	1件	10,000円
一般寄付	31件	753,128円	30件	556,631円	16件	571,103円

(4) 会議及び社協職員研修

- ・課長会議 22回開催 原則毎月2回開催
- ・衛生委員会 11回開催 原則毎月開催
- ・人権学習 1回開催
開催日 3月29日
- ・災害ボランティアセンター設置運営訓練
開催日 6月17日開催
参加者：糸島青年会議所、ライオンズクラブ、防災士会「てまがえ隊」、市民防災士、市地域福祉課、市危機管理課、県社協、市社協 計79人
- ・災害ボランティア連絡会
開催日 8月10日開催
参加者：糸島青年会議所、市地域福祉課、市危機管理課、県社協、市社協 計9人

(5) 発展強化計画策定の推進

- ・経営基盤強化委員会開催 2回
- ・全体会ワークショップ開催 3回
- ・ワーキンググループ（WG）会議開催
事業強化WG会議 9回
組織強化WG会議 10回
財務強化WG会議 9回
- ・課長会・正副リーダー会 11回

※令和5年6月策定予定

3. 住民参加による小地域福祉活動事業

(1) 校区社会福祉協議会の活動助成と連携

校区名	主な事業内容
波多江	理事会、会計監査、総会、合同研修会、理事研修会、地域ささえあい会議、福祉だより「福祉の窓」発行（年3回）、単身高齢者の集い、単身高齢者訪問（年4回）、ママといたずらキッズ（年4回）
東風	理事会、会計監査、総会、理事研修、地域ささえあい会議、福祉だより「福祉の羽衣」発行（年3回）、単身高齢者世帯訪問（年3回）、75歳以上高齢者世帯訪問（年3回）、役員会、合同委員会、単身高齢者ふれあいの集い（中止のためレトルト食品配布）、はるかぜキッズ（6回）、文化祭展示、九大留学生との交流会
前原	役員会、理事会、会計監査、総会、民生児童委員・福祉委員合同会議、地域ささえあい会議、講演会、小地域福祉活動研修会、先進地視察、校区社協研修会、福祉だより発行（年3回）、前原ふれ愛の会、すまいる広場（年11回）、単身高齢者訪問（年3回）、高齢者見守り事業（タオル配布）、サロンダーツ大会
前原南	総会、役員会、会計監査、地域ささえあい会議、福祉だより「南天」発行（年4回）、単身高齢者定期巡回（年6回）、高齢者定期訪問（年2回）、単身高齢者の集い「南天のつどい」、講演会、校区文化祭、他校区社協交流会
南風	理事会、会計監査、総会、地域ささえあい会議、社協だより発行（年3回）、推進会議（年9回）、合同会議、笑顔写真撮影会、単身高齢者訪問（年2回）、75歳以上高齢者訪問、歳末見守り訪問、学校訪問、新生児赤ちゃん訪問、ふれあい旅行、認知症サポーター養成講座、助成団体支援活動、視察研修
加布里	理事会、会計監査、総会（書面）、地域ささえあい会議、校区民児協会議、民生委員・福祉委員合同会議、福祉だより「道しるべ」発行（年4回）、単身高齢者訪問（年4回）、校区役員・部会長会議、小地域ネットワーク交流会、シニアクラブとの懇談会、福祉団体の活動支援、単身高齢者の集い（中止のため味噌汁を配布）、子どもふれあい教室（年5回）、
長系	役員会議、理事会、会計監査、総会（書面）、研修座談会、研修会、地域ささえあい会議、長期療養中高齢者訪問、校区社協だより発行（年3回）、小学校訪問、単身高齢者訪問（年4回）、85歳以上訪問、団体助成、安心ネット長系、地域カフェみらい、移動スーパー「いと丸くん」、自主運行バス
雷山	理事会、会計監査、総会、地域ささえあい会議、民生委員・福祉委員合同会議、福祉委員会、福祉だより発行（年3回）、単身高齢者訪問（年3回）、単身高齢者の集い（中止のためゴミ袋を配布）、介護予防講習会、健康講話、五者会議、単身・二人暮らし高齢者・心配家庭等訪問、米寿訪問、にこにこ広場（年2回）、小学校訪問、男性料理教室、
怡土	役員会、理事会、会計監査、総会（書面）、地域福祉研修会、区長会との意見交換会、福祉委員会、地域ささえあい会議、いきいきサロン代表者会議、社協だより発行（年3回）、やよい活動（高齢者訪問年3回）、地域ささえあいサポーターとの懇談会、オンデマンドバス感謝祭、

校区名	主な事業内容
一貴山	理事会、会計監査、総会（書面）、地域ささえあい会議、福祉だより発行（年3回）、ふれあい弁当配布（年3回）、見守り事業（年2回）、子育て支援（年3回）、男性の料理教室（年9回）、サロン交流事業、九大おもしろ実験教室、
深江	役員会、会計監査、総会、評議員研修、地域ささえあい会議、独居高齢者見守り活動（年5回）、独居高齢者の集い、広報発行「ほっとタイム深江」（年3回）、卓球バレー大会、グラウンド・ゴルフ大会、福祉委員・民生委員研修交流会、あったかコンサート
福吉	理事会、会計監査、総会、役員会、地域ささえあい会議、校区社協だより発行（年3回）、高齢者講座、独居高齢者訪問（年3回）、独居高齢者の集い、校区グラウンド・ゴルフ大会、ふれあいコンサート、理事・福祉委員交流会
可也	理事会、会計監査、総会、地域ささえあい会議、広報誌発行（年3回）、独居高齢者訪問（年3回）、民生児童委員交流会、民生委員・福祉委員交流会、川辺の里の集い（中止のため物品配布）、子育て支援箱配布、可也小あいさつ標語依頼
桜野	理事会、会計監査、総会（書面）、役員会、視察研修、地域ささえあい会議、広報誌「愛・さくらの」発行（年4回）、独居高齢者訪問（年3回）、校区文化祭、芸能・のど自慢大会、役員・福祉委員・ボランティアサークル交流会
引津	理事会、会計監査、総会、地域ささえあい会議、視察研修、広報発行（年3回）、独居高齢者訪問（年3回）、引津小との交流事業、独居高齢者八年賀状送付（引津小連携）

（２）校区社会福祉協議会会長・事務局長会議の開催

- ・会長・事務局長会議

第1回開催日 6月22日

第2回開催日 2月10日

- ・事務局長会議

開催日 1月31日

（３）小地域ネットワーク福祉会の活動支援と連携

- ・小地域ネットワーク福祉会 17団体

- ①松隈福祉会 ②初福祉会 ③師吉団地福祉会 ④大石福祉会 ⑤稲葉福祉会
 ⑥師吉福祉会 ⑦桜井東福祉会 ⑧大町福祉会 ⑨御床福祉会 ⑩西貝塚福祉会
 ⑪芥屋福祉会 ⑫神在三区福祉会 ⑬東蔵持福祉会 ⑭老松町福祉会
 ⑮池田南福祉会 ⑯白浜町福祉会 ⑰南風台6・7丁目福祉会

- ・小地域ネットワーク福祉会連絡会議

福祉会の活動の報告やコロナ禍での活動について、各福祉会より報告をいただき、情報共有を行うことで有意義な意見交換の場となった。

開催日 3月7日

(4) 見守り台帳の整備と支援態勢づくり

見守り台帳の取り組みでは、平常時における要援護者への見守り及び集中豪雨や地震などの自然災害発生時の見守り支援態勢づくりの構築を推進した。

新規調査対象者 1,303 人に校区社協を通じて聞き取り調査を実施した結果、439 人が新規登録され、合計 7,596 人の登録となった。

校区別対象者集計（令和5年3月末現在）

校区名	独居高齢者	高齢者のみ	同居高齢者	障がい者	その他	計
波多江	205人	280人	70人	63人	0人	618人
東風	128人	214人	63人	23人	0人	428人
前原	250人	441人	111人	78人	0人	880人
前原南	172人	204人	57人	43人	0人	476人
南風	63人	206人	43人	37人	0人	349人
加布里	190人	392人	103人	53人	0人	738人
長糸	48人	129人	31人	20人	0人	228人
雷山	70人	169人	38人	21人	0人	298人
怡土	169人	514人	126人	53人	1人	863人
一貴山	105人	185人	80人	23人	0人	393人
深江	187人	323人	136人	43人	0人	689人
福吉	102人	259人	84人	30人	0人	475人
可也	157人	230人	97人	49人	2人	535人
桜野	42人	58人	45人	22人	0人	167人
引津	113人	149人	156人	41人	0人	459人
計	2,001人	3,753人	1,240人	599人	3人	7,596人

(5) 福祉委員への支援

民生委員児童委員と連携し、地域福祉の推進役として各行政区に福祉委員を設置。164 行政区 178 人に委嘱した。（設置率 100%）

- 福祉委員代表者会

開催日 4月15日

内容 研修会について等

- 福祉委員委嘱状交付式及び研修会

開催日 4月15日

内容 委嘱状交付、福祉委員活動及びボランティア活動保険について説明

参加者 152人

(6) 糸島市民生委員児童委員へ支援

民生委員児童委員の活動に関する相談支援を実施した。また、民生委員児童委員協議会の運営に関して事務局として支援を実施した。

- ・役員会並びに定例会の開催

役員会 年7回 偶数月第1金曜日（一斉改選前の11月に臨時役員会開催）

前原地区 年12回 毎月 第3週の水曜日

二丈地区 年12回 毎月 第3週木曜日

志摩地区 年12回 毎月 第3週水曜日

- ・各地区研修会の開催

◎前原地区

開催日	参加人数	講師	研修内容
7月13日	97人	糸島市役所 子育て支援課	民生委員児童委員としての気になる子育て世帯とのかかわり方、児童虐待の現状
9月14日 ※AMのみ	48人	糸島保健福祉事務所	ゲートキーパーについて
1月18日	99人	(DVD)	民生委員・児童委員のための学習ビデオ

◎二丈地区

開催日	参加人数	講師	研修内容
5月19日	33人	糸島市社会福祉協議会 (福祉の総合相談窓口)	福祉の総合相談窓口について
6月16日	31人	糸島市二丈地域包括支援センター	地域包括支援センターの業務について
8月18日	32人	糸島市役所 子育て支援課	要保護児童の相談状況や支援体制、民生委員児童委員のかかわり方等
9月15日	32人	糸島市社会福祉協議会	日常生活自立支援事業について
2月16日	30人	糸島保健福祉事務所	ゲートキーパーについて
3月16日	29人	糸島市社会福祉協議会	活動記録について

◎志摩地区

開催日	参加人数	講師	研修内容
6月15日	34人	糸島市消防本部	救命入門コース
8月17日	36人	糸島市役所 子育て支援課	民生委員児童委員としての気になる子育て世帯との関わり方、児童虐待の現状
2月15日	33人	糸島保健福祉事務所	ゲートキーパーについて

(7) 社協出前講座（糸島市出前講座）への職員派遣

市役所の生涯学習情報誌に掲載している出前講座へ職員を派遣した。

派遣先 糸島市人権・同和教育研究会

開催日 6月14日

派遣内容 No.5

[講座メニュー]

No.1 地域福祉ってなあに？

No.2 地域の福祉力を高める住民講座

No.3 ご存知ですか？あなたのまちの民生委員・児童委員

No.4 家庭介護教室

No.5 福祉教育

No.6 社会貢献教育「寄付の教室」

No.7 社会貢献教育「寄付の教室～応用～」

No.8 地域福祉活動計画 ～糸島の地域福祉力のさらなる向上を目指して～

4. ボランティアセンター事業

ボランティア活動に関する相談、情報提供、コーディネートなど個別の活動支援を行うとともに、ボランティア講座の企画運営については、市社協ボランティア連絡協議会との共催で行った。

No.	項目	内容
1	ボランティア活動支援	<p>ボランティア活動に関する相談、情報提供、コーディネートなど活動支援</p> <p>①令和4年度 ボランティアセンター登録者数 2,679 人 内訳 1 ボランティアセンター個人登録者 13 人 2 社協ボランティア連絡協議会会員 390 人 3 その他団体・個人 69 団体・個人 2,276 人 (※ボランティア活動保険の実績数換算による)</p> <p>②ボランティア活動に関する対応件数、79 件 内訳 ボランティア依頼者数 44 件、活動希望者数 7 件、情報提供他 28 件</p> <p>③新型コロナウイルス感染拡大に起因する社会変化に対応して、市民活動に関する相談や問い合わせなど フードバンク糸島 Happiness 等との連携により経済的理由で生理用品を購入することが難しい人を主な対象として、市健康福祉センターあごらにて生理用品を随時提供等</p>
2	ボランティア活動保険の助成	<p>①令和4年度保険全額助成 団体・個人 624 人 (内訳) ボランティア連絡協議会団体 370 人 ボランティアセンター個人登録者 20 人 福祉委員会 178 人 糸島青年会議所 56 人</p>
3	ボランティア団体への助成	<p>①運営助成(上限3万円) 27 団体 790,000 円 ・地域福祉の推進のためのボランティア団体運営経費を助成</p> <p>②備品助成(上限5万円) 2 団体 44,556 円 ・団体の活動に必要な備品や消耗品を上限5万円まで助成 対象団体： はつらつマイスターズ、布絵本の会こびとのくつや</p> <p>③事業助成(上限5万円) 1 団体 30,000 円 ・研修会・講演会等市民向けの事業の開催費、または調査・研究事業の実費を上限5万円まで助成 対象団体： 手をつなぐ糸島市民のつどい</p>

糸島市社協ボランティア連絡協議会事業

No.	項目	内容・開催日・場所	内容	参加人数
1	ボラ連役員会	第1回役員会 7月15日 あごら	<p>①糸島市社会福祉大会表彰の推薦について</p> <p>②市民・会員向け講座について</p> <p>③遊び×学び×交流フェスいとしまFunについて</p> <p>④令和4年度ボラ連代表者会について</p> <p>⑤地域福祉計画よりボランティア関連項目について</p> <p>⑥今後のボラ連について</p>	4人

		第2回役員会 3月1日 あごら	①令和4年度事業について ②令和5年度事業計画について ③加盟審査(2団体) ④役員会について ⑤代表者会について ⑥令和5年度関連事業について	4人
2	ボラ連代表者会	第1回社協ボラ連代表者会 5月28日 あごら	①令和4年度役員紹介 ②新規加盟団体紹介 ③令和3年度事業報告について ④令和4年度事業計画について ⑤遊び×学び×交流フェスいとしまFunについて ⑥糸島市社会福祉大会について ⑦地域福祉活動計画よりボランティア関連項目について ⑧意見交換(情報交換シート) ※新型コロナウイルス感染症対策として部会別会議は実施せず	24人
		第2回社協ボラ連代表者会 1月21日 あごら	①令和4年度ボランティア関連事業経過報告について ②ふくおか“きずな”フェスティバル参加について ③第2期糸島市地域福祉活動計画関連項目について ④部会別協議 役員選出、各団体活動報告 令和5年度事業計画案意見交換 ⑤全体協議	19人
3	ボラ連会員研修	糸島市手をつなぐ親の会 ^{かける} × 市社協ボラ連情報交換会 9月27日 あごら	これまでに交流があまりなかった2団体の会員が対話をおして、相互の理解を深めるため開催。ボラ連としては障がい児者への理解を深めるとともに、普段のボランティア活動を伝えることで、協力や交流にむけた関係づくりを行った。	24人
		ふくおか“きずな”フェスティバル 2月19日 クローバープラザ	●記念講演 「元気100歳への挑戦」 ●高齢者分科会 「支え、支えられる地域福祉社会づくり」 ●障がい児者分科会 「盲導犬とともに～視覚障がいのある方の日常～(仮)」 ●子ども・子育て支援分科会 「子どもアドボカシーのススメ～自分を大切にできる子どもを育てる～」 他	26人

4	いとしま Fun 2022	テーマ：「防災×学び」 10月23日 あごら	遊び×学び×交流フェスとして、地域住民やボランティアなど様々な人たちで「地域共生社会」の実現を目指し、糸島市のボランティア・福祉活動を知ってもらうことを目的に開催	800人
---	------------------	------------------------------	---	------

糸島市社協ボランティアセンター事業

No.	項目	内容・開催日・場所	内 容	人数
1	市民向け講座	「知って備える！災害時の対応講座 ～家族のタイムラインを作ろう～」 11月24日 あごら 視聴覚室	近年、多発する災害への備えとして浸透しつつある「タイムライン」。災害発生時の対応を時系列でまとめた計画のことで、それを個人がどう行動するかまとめたものが「マイタイムライン」と呼ばれる。 本講座では、九州大学の三谷教授をお招きし、防災に関するマップなどの情報の読み取り方やいざという時の備えについての講話に加え、「マイタイムライン」づくりを実施。	12人
2	福祉教育	ふくし体験スクール 7月28日、29日 あごら	小学5、6年生を対象に福祉の心を育むために開催 〈内容〉 手話学習会、介助犬についての学習、アイマスク・車いす・ニュースポーツ体験、ワークショップ	28人
		①6月14日 糸島市人権・同和教育研究会障がい者 の人権分科会（7人） ②6月29日 桜野小学校4年生（16人） ③10月13日 糸島高校1年生（45人） ④10月18日 前原西中学校（40人） ⑤12月6日 福吉小学校4年生（29人） ⑥1月13日 前原中学校2年生（40人） ⑦3月14日 雷山小学校3年生（33人）	①車いす・アイマスク体験 ②車いすユーザーの講話、アイマスク・車いす体験 ③地域福祉活動計画についての講話 ④フードバンク等についての講話 ⑤車いす・アイマスク体験、講話 ⑥地域福祉に関する講話 ⑦車いす体験	210人

5. 高齢者福祉事業

(1) 家族会（在宅介護者の会）活動支援

在宅で介護をされている方とその家族等が集い、情報交換や悩みを語ることにより心理的、身体的なストレスの軽減を図ることを目的に組織化。各地区の家族会で学習会や意見交換会、バスハイクを実施。

- 3地区合同学習会 7月14日
内容：映画観賞会「死に花」
- 3地区合同学習会 12月8日
場所：伊万里温泉「白寿の湯」
- 「癒しの会」（前原地区） 活動日／2ヵ月に1回 場所／あごら
※コロナ禍により開催日数が減少
- 「楽笑」（二丈地区） 活動日／3ヵ月に1回 場所／二丈苑
※コロナ禍により定例会は中止
- 「あすなろの会」（志摩地区） 活動日／毎月第3木曜日に開催 場所／ふれあい

(2) 糸島市シニアクラブ連合会への活動支援及び助成

グラウンドゴルフ・ペタンク大会の開催支援

開催日 10月20日

場所 曽根グラウンド

団体運営に関する活動助成

6. 障がい児（者）福祉事業

（1）わがまる芸術団

いとしまFun2022とMUKA 他にて活動報告及び作品展示

（2）糸島市社協ボランティア連絡協議会と手をつなぐ親の会との意見交換会

団体の会員が対話をとおして、相互の活動の理解を深めるため開催

（3）共同作業所への活動助成（歳末たすけあい募金）

NPO法人いとしま工芸、NPO法人みらいへの活動助成

（4）身体障害者福祉協会への活動支援及び助成

団体運営に関する活動助成

（5）糸島市臨床動作法研究会親の会（レインボーサークル）への活動助成

団体運営に関する活動助成

（6）糸島市精神障がい者家族会“いとしま会”への活動支援及び助成

団体運営に関する活動助成

（7）手をつなぐ親の会への活動支援及び助成

団体運営に関する活動助成

（8）糸島市聴覚障害者協会への活動支援及び助成

団体運営に関する活動助成

7. 児童・青少年・ひとり親家庭の福祉事業

(1) 福祉教育教材「ともに生きる」配布

配布対象 市内 16 小学校の小学3年生へ 1,052 冊配布

(2) 児童公園への遊具設置事業（遊具保険のみ）

撤去修繕の実績はなし

(3) ひとり親家庭交流事業の開催

ひとり親家庭を対象にボーリング大会及び食事会を交流事業として実施

開催日 8月7日

場所 スポーツ（福岡市西区横浜 1-43）

参加者 11 世帯（児童 18 人 保護者 11 人）、母子会 5 人、社協職員 5 人
計 39 人

(4) 母子等寡婦福祉会への活動支援及び助成

団体運営に関する活動助成

(5) 共助社会づくり推進のための市町村社協モデル指定事業

・ひきこもりを考える講演会の開催

「ひきこもり」についての基本的理解や当事者・家族・支援者の具体的な関わり方について学び、考えることを目的に開催

対談 ～ひきこもり経験者と支援者からのメッセージ～

開催日 7月23日

講師 長阿彌 幹生氏（教育文化研究所代表）

児玉 光司氏

場所 あごら 視聴覚室

参加者 29人

・家族の集いの開催

「ひきこもり」について悩みを持つ家族が同じ悩みを持つ方と交流する場の開催

開催数：6回、参加者数：62人

・人や社会とのつながりのための居場所づくり

日ごろ家に閉じこもりがちな方、課題・悩み事がある方等の社会参加の場として、「ゆるゆるカフェ」「ゆるゆるプランター農園」を開催。

(6) 子ども支援団体の活動支援

- 子ども支援団体連絡会議

食や居場所で子ども支援を行う団体の情報共有のための会議を実施。また、会議に参加する団体に対し、NPO や企業、個人からの食品の寄付について連絡調整を行う。

子ども支援団体連絡会議

第1回開催日 7月5日

第2回開催日 3月1日

- 子ども未来ネットワーク定例会

「子ども未来ネットワーク(子どもを地域で見守る大人の集まり)」メンバーと市社協との会議

参加者／子ども若者支援に関心がある方（子ども食堂、フリースクール、プレーパーク、福祉施設職員等）

8. 総合的な福祉事業

(1) 広報紙市社協だより「みんなのふくし」の発行（全戸配布）

年間4回の発行、70号から73号の発行（4月、7月、10月、2月）

(2) 共同募金運動の推進（目標額 1,550万円）

福岡県の目標額は、昨年実績の直近額に設定され、コロナ禍における募金活動となり達成率は98.2%で昨年度の実績を下回った。（参考：昨年度達成率99.3%）

赤い羽根共同募金総実績額 15,233,538円

【内訳】

（参考：令和3年度 15,391,851円）

区分内容	金額
戸別募金（行政区ごとに協力依頼）	12,123,243円
職域募金（バッジ・タイピン募金）	611,914円
大口募金（市内の法人企業・個人店に協力依頼）	1,275,600円
その他（自動販売機、個人、街頭募金・募金箱、利息など）	1,222,781円

(3) 糸島市社会福祉大会

第10回目を迎える本大会は、福祉活動を推進する様々な団体や地域住民が一堂に会し、コロナ禍を考慮して社会福祉の充実発展に功労のあった団体を表彰した。

開催日 10月23日

場所 あごら 視聴覚室

参加者 91人

内容 表彰及び優秀賞受賞団体の活動発表

受賞者 優秀賞：「いとしまこども食堂ほっこり」

功労賞：「NPO 法人糸島ハートの会」「一般社団法人CFT いとしま」

「前原校区社会福祉協議会」「はつらつマイスターズ」

「みんなのふくよしカフェ」「前原南校区シニアクラブ連合会」

「前原校区シニアクラブ連合会」「志登シニアクラブ」

「笑楽会」「悠遊会」

9. 相談支援（援護活動）事業

（1）法律・心配ごと相談

法律・心配ごと相談所の開設（あごら）毎週火曜日、延べ43回実施/相談件数192件
相談員（延べ） 弁護士43人 民生児童委員42人（各校区民児協から選出）

（台風接近及びコロナ禍により9/6、12/13中止）

相談内容（192件）

（参考：令和3年度180件） 単位：件

生計	1	年金	2	職業・生業	4	住宅	14	家族	6	結婚	0
離婚	17	健康衛生	0	医療	1	精神衛生	0	金銭・法律	33	財産	68
事故	5	児童・母子	0	教育青少年	0	心身障害者	1	母子・父子	0	老人福祉	0
苦情	3	その他	37								

処理内容（192件）

単位：件

解決	101	再来相談	22	他機関を紹介	35	その他	34
----	-----	------	----	--------	----	-----	----

（2）生活福祉資金等相談件数（生活福祉資金及び福祉金庫）

コロナ禍による影響も含め経済的な困窮等により、多様な生活課題を抱える人への総合的な支援を行う生活困窮者自立支援制度が施行され、貸付事業は連携施策として運営、活用されている。令和4年度も、コロナ特例貸付として緊急小口資金及び総合支援資金が年間をとおして相談があった。

・相談件数の推移（初回相談の件数）

令和2年度 143件（既存の貸付）、2,849件（コロナ特例貸付）

令和3年度 146件（既存の貸付）、1,260件（コロナ特例貸付）

令和4年度 190件（既存の貸付）、220件（コロナ特例貸付）

・生活福祉資金の貸付決定状況

福祉資金 福祉費 7件 6,663千円

緊急小口資金 16件 1,145千円

教育支援資金 教育支援費 39件 18,411千円

就学支度費 37件 13,413千円

計 99件 39,632千円

（令和3年度 66件 24,036千円）

・コロナ特例貸付（令和4年4月1日から令和4年9月30日）

引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、休業や失業及び収入の減少に伴い生活が困窮となった世帯への貸付（通常の緊急小口資金及び総合支援資金の貸付要件緩和）

緊急小口資金 102件 20,010千円

総合支援資金 100件 53,650千円

計 202件 73,660千円

【令和2年3月23日から令和4年9月30日までの実績】

緊急小口資金	1,679件	330,520千円
総合支援資金	1,450件	797,170千円
総合支援資金（延長）	528件	282,860千円
総合支援資金（再貸付）	500件	273,710千円
合計	4,157件	1,684,260千円

・特例貸付借受人への相談業務

生活福祉資金特例貸付の借受人への相談支援業務の実施。緊急小口資金や総合支援資金の償還が、令和5年1月から開始されることに伴い、引き続き影響を受けて償還が困難な世帯（住民税非課税世帯）への償還免除申請等の相談支援や償還猶予申請などの相談支援の実施。

相談件数 63件

・福祉金庫の貸付件数

明日の食費もなく生命に関わるほど窮迫している、生活費を得るための交通費や燃料代の捻出できない等、緊急を要する貸付が増加傾向にある。

70件 1,187千円（参考:令和3年度 58件1,062千円）

（3）日常生活自立支援（権利擁護）事業

認知症や知的障がいの方などで判断能力が低下した方を対象に、福祉サービス援助や日常的な金銭管理を実施。

契約内訳

・福祉サービス利用援助、日常的な金銭管理サービス

利用件数27件 内訳／高齢者17件・障がい者10件（知的・精神）
（継続33件・新規2件・廃止8件）

・書類等預かりサービス事業（貸金庫で保管）

利用件数14件 内訳／高齢者7件・障がい者7件（知的・精神）

・安心あずかりサービス事業（独自事業）

利用件数5件 内訳／高齢者3件・障がい者2件（知的・精神）
（継続7件・新規2件・廃止4件）

10. 受託事業

(1) 市健康福祉センター「あごら」「ふれあい」、市高齢者福祉施設「二丈苑」の管理・運営（指定管理者）

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を継続し、あごらのトレーニングルームの時間短縮及びふれあいの一般入浴の利用制限を実施した。また、あごらに関しては台風による避難所として避難者の受け入れを行った。

- ・糸島市健康福祉センター「あごら」利用者数 延べ68,308人（令和3年度43,048人）

単位：人

月 会場名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
視聴覚室	875	662	673	449	539	396	1,103	966	1,157	822	593	569	8,804
トレーニング団体	386	281	438	405	195	323	357	327	353	299	279	285	3,928
トレーニング個人	662	699	721	760	720	715	721	695	544	702	728	826	8,493
調理実習室	116	158	235	188	194	108	392	127	108	229	162	169	2,186
栄養指導室	257	420	435	301	268	240	261	251	205	295	282	328	3,543
研修室1	214	303	275	164	158	272	244	210	105	166	257	270	2,638
研修室2	365	362	348	218	299	263	438	268	307	250	354	367	3,839
教養娯楽室1	195	200	161	183	173	163	322	150	154	165	234	196	2,296
教養娯楽室2	183	193	105	115	75	100	282	137	91	75	132	87	1,575
ふれあい交流室1	256	272	207	287	224	221	342	291	323	313	688	494	3,918
ふれあい交流室2	127	226	149	162	154	207	310	213	301	165	610	485	3,109
ゲートボール場1	0	0	0	10	0	0	60	80	0	0	0	0	150
ゲートボール場2	0	0	0	10	0	0	60	80	0	30	0	0	180
軽グラウンド	1,475	1,345	1,278	1,057	1,261	1,205	1,340	1,605	1,145	1,020	1,398	1,464	15,593
陶芸室	183	235	261	184	221	519	263	493	312	188	258	375	3,492
図書室	159	313	400	259	305	417	627	713	375	428	446	122	4,564
計	5,453	5,669	5,686	4,752	4,786	5,149	7,122	6,606	5,480	5,147	6,421	6,037	68,308

- ・糸島市健康福祉センター「ふれあい」利用者数 延べ27,183人（令和3年度17,544人）

単位：人

月 会場名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
健診・研修室	293	435	603	826	316	342	380	292	531	562	481	508	5,569
ふれあい交流室	158	160	419	175	317	163	313	243	594	265	287	349	3,443
趣味の部屋	374	278	396	342	261	314	296	282	261	306	377	351	3,838
和室1、2	66	102	73	101	88	71	106	136	68	81	120	94	1,106
和室3	36	28	55	41	28	24	40	96	28	61	108	76	621
陶芸室	54	57	70	59	23	60	60	62	62	43	48	52	650
一般浴室	332	295	262	241	179	226	344	435	510	626	742	819	5,011
テニスコート	520	614	583	640	388	514	636	530	459	420	489	556	6,349
ヘルストロン	43	49	52	58	23	37	54	54	45	44	65	72	596
計	1,876	2,018	2,513	2,483	1,623	1,751	2,229	2,130	2,558	2,408	2,717	2,877	27,183

- ・糸島市高齢者福祉施設「二丈苑」利用者数 延べ2,976人（令和3年度2,200人）

単位：人

月 会場名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大研修室	217	193	192	227	120	166	168	185	142	178	254	257	2,299
小研修室(和室)	50	72	46	58	46	52	46	46	51	55	50	55	627
調理実習室	0	16	0	0	7	0	0	7	0	20	0	0	50
計	267	281	238	285	173	218	214	238	193	253	304	312	2,976

(2) 基幹型地域包括支援センター事業

基幹型地域包括支援センターとして、各地域包括支援センターにおける業務・連絡調整を行うとともに事業運営に必要な情報等の共有を図り、センターの機能強化に取り組んだ。また、各地域包括支援センター職員に対し、ケアマネジメントの質の向上と処遇困難ケース対応の研修会の開催や処遇困難事例等への助言、同行訪問等の支援を通じ各センターの資質向上を図った。

【相談件数】

来所	電話	往訪	その他	合計
131人	1,190人	211人	36人	1,568人

【相談者内訳】

包括支援センター	本人	家族（同居）	家族（別居）	親戚・近隣・知人	民生委員
896人	94人	61人	20人	22人	1人
見守り協力員	行政関係者	介護支援専門員	介護サービス事業所	社会福祉サービス事業所	医療関係者
1人	218人	99人	22人	29人	75人
権利擁護関係	その他	合計			
17人	13人	1,568人			

【相談内容】

一般相談		困難事例	
介護認定	18件	虐待関係	360件
介護保険サービス	20件	権利擁護・成年後見	75件
介護予防ケアマネジメント支援	7件	消費者被害	2件
総合事業サービス	4件	権利侵害（第三者による）	6件
介護相談（介護方法等）	4件	DV・暴力	29件
福祉用具	4件	経済的問題	79件
住宅改修	0件	認知症	441件
施設入所	6件	精神・知的（依存含む）	256件
在宅医療	24件	ターミナル	63件
見守り支援	135件	近隣トラブル、苦情	14件
連絡・引継	51件	介入、サービス拒否	78件
認知症	24件	その他	68件
権利擁護等	7件		
その他	20件	小計	1,471件
小計	324件	合計	1,795件

【虐待の内訳】

身体的虐待	経済的虐待	精神的虐待	性的虐待	介護放棄	合計
45件	9件	11件	0件	2件	67件

【地域ケア会議等への参加】

地域ケア会議 (自立支援型)	地域ケア会議 (処遇困難事例)	地域ケア会議 (地域課題)	介護予防 研修会	ケース会議	合計
37件	3件	26件	4件	19件	89件

【関係者等会議への参加】

行政関係主催	地域関係者主催	業務担当者関係	研修会開催・運営	研修会参加
90件	8件	99件	10件	7件
ケアプランチェック	多職種連携	市民啓発	視察対応	合計
27件	9件	1件	0件	251件

【地域包括支援センター事務局連絡会議等】

開催回数 11回（内センター長会議 1回） 事前会議 12回

部会会議の運営 ・保健師、看護師部会 10回 ・社会福祉士部会 18回
 ・主任介護支援専門員部会 11回

【介護予防ケアマネジメント研修（全体研修）の開催】

第1回研修	開催日：8月25日
	テーマ：介護予防ケアマネジメントの基本的な考え方を学ぶ 講師：市・介護高齢者支援課・基幹型地域包括 主任ケアマネ 参加人数：31人（基幹型包括・市職員含む）
第2回研修	開催日：11月25日
	テーマ：高齢者虐待における基本的な視点を学ぶ（グループワーク形式） 講師：石橋 雅子 氏（法テラス福岡副所長/福岡県社会福祉士会） 参加人数：37人（基幹型包括・市職員含む）
第3回研修	開催日：1月12日
	テーマ：処遇困難事例対応のスキルアップに向けて（グループワーク形式） 講師：石橋 雅子 氏（法テラス福岡副所長/福岡県社会福祉士会） 参加人数：39人（基幹型包括・市職員含む）

【認知症初期集中支援チーム会議】

協議件数 6件（延件数）

【市民への啓発活動】

・家庭介護者向け研修会

【糸島地区介護保険事業者連絡会】

糸島地区介護保険事業者連絡会の事務局として、介護事業所との連携を図り、毎月役員会や定例会の支援を行った。

(3) 障がい者相談支援事業

障がい者相談支援センターは、糸島市内に「糸島市社協」と「志摩学園」、「木の実」、「木の実二丈センター」の計4箇所の相談窓口が設置され、障がいに関する相談に対して電話や訪問などにより相談支援を実施している。また、各センターとの連携を図るため事例検討や相互の情報交換等を行った。計画相談業務では、障がい支援区分認定調査事業とともに利用者の支援を行った。

【年齢層】（月毎実数合計）

10歳未満	413件	40代	192件	80代	17件
10代	259件	50代	192件	90代以上	2件
20代	145件	60代	238件	不明	22件
30代	113件	70代	35件	合計	1,628件

【障がい種別】（月毎実数合計）

身体障害	381件	精神障害	290件	難病	36件
重症心身障害	81件	発達障害	357件	その他	21件
知的障害	439件	高次脳機能障害	23件	合計	1,628件

【地域割】（月毎実数合計）

前原	二丈	志摩	その他	不明	合計
1,294件	137件	145件	37件	15件	1,628件

【障がい者・児別】（月毎実数合計）

障がい者	障がい児	不明	合計
1,003件	624件	1件	1,628件

【相談方法】（延べ件数）

訪問	576件	来所	192件	同行・引率	19件	
電話・メール	1,430件	関係機関	1,397件	その他	49件	
					合計	3,663件

【支援内容】（延べ件数）

①福祉サービスの利用等に関する支援	830件	⑦家計・経済に関する支援	92件	
②障害や病気の理解に関する支援	19件	⑧生活技術に関する支援	717件	
③健康・医療に関する支援	223件	⑨就労に関する支援	350件	
④不安の解消・情緒安定に関する支援	184件	⑩社会参加・余暇活動に関する支援	171件	
⑤保育・教育に関する支援	936件	⑪権利擁護に関する支援	14件	
⑥家族関係・人間関係に関する支援	50件	⑫その他	77件	
			合計	3,663件

(4) 生きがいデイ教室（総合事業）

総合事業として、前原東圏域を対象に月曜日に実施。

単位：人

あごら/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月	実人数	25	27	25	25	18	20	22	22	20	19	21	21	22/月
	利用者数 (延べ)	92	92	89	84	62	53	76	83	71	67	76	78	923

(参考：令和3年度 月平均24人 938人)

(5) 移送サービス事業

公共交通機関等の利用が困難な在宅の寝たきり高齢者等を移送用車両で医療機関等へ移送するサービス。(登録車両4台)

単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登録	高齢者	96	98	100	101	102	101	95	96	93	90	89	88	96/月
	障害者	41	42	42	42	42	42	43	43	43	43	43	45	42/月
	計	137	140	142	143	144	143	138	139	136	133	132	133	138/月
利用	高齢者	20	21	19	27	23	25	24	24	24	20	21	23	271
	障害者	9	6	7	8	8	9	10	7	7	9	9	8	97
	計	29	27	26	35	31	34	34	31	31	29	30	31	368

(参考：令和3年度326人)

(6) 配食サービス事業

調理が困難な65歳以上で一人暮らし等高齢者に対して、栄養のバランスのとれた食事を昼・夜に提供。3コースで対応(志摩地区は志摩園が受託)

単位：人、食、四捨五入

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
実利用者数	昼	42	42	42	43	41	42	41	41	39	33	32	32	39人/月
	夕	57	56	53	53	52	51	51	48	48	44	43	45	50人/月
	合計	99	98	95	96	93	93	92	89	87	77	75	77	89人/月
配食数	昼	767	790	743	784	784	793	825	783	708	632	553	604	8,766
	夕	1,295	1,266	1,182	1,218	1,170	1,132	1,095	1,050	984	933	861	965	13,151
	合計	2,062	2,056	1,925	2,002	1,954	1,925	1,920	1,833	1,692	1,565	1,414	1,569	21,917

(参考：令和3年度29,093食)

(7) 母子家庭等日常生活支援事業

派遣件数 3件 内訳 母子家庭3世帯 14回 14時間

(参考：令和3年度：7回、7時間)

(8) ふれあい生きいきサロン活動事業

ふれあい生きいきサロン数 113 (前原地区61、二丈地区17、志摩地区35)

「松原ふれあいサロン」、「かむりいきいきサロン 1・2・3 組」は、代表者の都合により今年度助成金の申請なし(活動は継続中)。

- ・地区別サロン一覧

【前原地区】

校区	団体名	行政区	開催場所
波多江	寿サロン	高田東	高田自治会館
	いきいきサロン茶話野香(さわやか)	池田北	池田自治会公民館
	いきいきサロンはたえ	波多江	西沖公民館・中町公民館等
	高田西わいわいサロン	高田西	高田自治会館
	池田南行政区よってきんしゃい	池田南	池田自治会公民館
東風	いきいきサロン浦志	浦志東	浦志公民館
	志登の会	志登	志登公民館
	泊一ふれあいサロン	泊一	泊一公民館
	潤南サロン	潤南	あごら
	潤おしゃべりカフェ	潤北	東風公民館
前原	さわさわ会	浦志南	サーパス吉・参番館 集会所
	いきいきサロン東町	東町	東町公民館
	サロンニシマチ	西町	西町公民館
	ほがらかサロン	北新地	北新地公民館
	北本町いきいき夢サロン一丸会	北本町	北本町公民館
	筒井町いきいきサロン	筒井町	筒井町公民館
	サロン南本町	南本町	ホテルニューガイア糸島会議室
	新田サロン木曜会	新田	新田本村公民館
	浦志西いきいきサロン	浦志西	ネオハイツ前原集会所
	上町中央サロン	上町中央	上町中央公民館
	サロン上新町	上新町	前原コミュニティセンター
	サロン油比の里	油比	油比公民館
前原南	上町ゆうゆうサロン	上町	前原南コミュニティセンター
	ひまわりサロン	老松町	老松町公民館
	サロン笹山	笹山	笹山公民館
	篠原1区ほほえみサロン	篠原1	篠原1区自治公民館
	サロン・クローバー	篠原2	篠原農民館
	さんさんサロン	篠原3	篠原1区自治公民館
	いきいきサロンひまわりの会	中央	篠原の里コミュニティセンター
南風	美咲ふれあい悠々サロン	美咲が丘東	美咲が丘第一集会所
	よりあいサロンたく	多久	多久集落センター

	ほっとカフェ	美咲が丘西	美咲が丘第2集会所
	よりあい処南風台	南風台1～8	南風台集会所（3丁目）
	笑楽会	荻浦	荻浦第一公民館
加布里	東雲（しのめ）会	東	東区集落センター
	神在二生きいきサロン	神在2	犬石西公民館
	かみありさん元気かい	神在3	神在3区公民館
	木曜会	神在4	釜塚コミュニティセンター
	ひだまりサロン「浜の園」	神在5	浜の園団地集会所
長糸	長野 友愛の会	長野	長野集落センター
	川付ほっとサロン	川付	長糸いこいの家
雷山	ぽっかぽか広場	香力	香力自治会館
	有田ふれあいいいきいきサロン	有田	有田公民館
	づくぼうサロン	高上	高上公民館
	いきいきサロン「福蔵（ふっくら）」	蔵持	蔵持公民館
	富いきいきサロン	富	富集落センター（富公民館）
	よかところサロン	有田中央	有田中央公民館
	西堂笑話会	西堂	西堂集落センター
怡土	曾根 より愛サロン	曾根	曾根公民館
	川原親和会	川原	川原公民館
	王丸これからクラブ	王丸	王丸公民館
	井田にこにこサロン	井田	井田公民館
	サロン住吉会	井原	井原自治会館
	お達者クラブ	高来寺	高来寺公民館
	大門いきいきサロン	大門	大門公民館
	加多朗カイ	未永	未永構造改善センター
	いきいきサロン三雲	三雲	三雲公民館
	ふれあいサロンたかす	高祖	高祖公民館
	ひなたぼっこ輝きサロン	瑞梅寺	のぞみ館（空き家）
	井原なごみの会	井原	井原公民館
	サロン十五日会	大門	大門構造改善センター

【二丈地区】

校区	団体名	行政区	開催場所
一貴山	いきいき武サロン	武	武公民館
	松国いきいきサロン	松国	松国公民館
	にこにこ石崎会	石崎	石崎公民館
	いきいきサロン長石	長石	長石公民館
	ハローサロン	波呂	波呂公民館

深江	やよい野ふれあいサロン	やよい野	二丈苑
	東町ふれあい生きいきサロン	東町	東町公民館
	白浜元気会	白浜町	白浜町公民館
	いきいきサロン下松末	下松末	下松末公民館
	生きいきサロン「ひまわり」	宮小路堂山	宮小路公民館
	片山サロン	片山	片山公民館
	松末サロン	松末	松末公民館
福吉	吉井下いきいきサロン	吉井下	福吉コミュニティセンター
	ふれあい竹戸サロン	吉井上	個人宅
	福井わくわくサロン	福井	福井区研修センター
	リフレッシュ! 加茂川	佐波	加茂川ふれあいセンター佐波分校会館
	バンビハウス	鹿家	鹿家公民館

【志摩地区】

校区	団体名	行政区	開催場所
可也	初ふれあい生きいきサロン	初	初公民館
	ひかりが丘ふれあいサロン	ひかりが丘	ひかりが丘公民館
	花の会	師吉団地	師吉団地公民館
	そよかぜ	師吉団地	師吉団地集会所
	津和崎シニアサロン	津和崎	津和崎公民館
	富士見ヶ丘福祉サロン	富士見ヶ丘	富士見ヶ丘集会所
	稲葉ふれあいサロン	稲葉	稲葉コミュニティセンター
	小金丸西いきいき微笑会	小金丸西	小金丸西公民館
	師吉 仲良し会	師吉	師吉公民館
	楽しい仲間作り	師吉	師吉公民館
	師吉区 自由な居場所「もやいの会」	師吉	師吉公民館
	火山シニアサロン	稲留	稲留公民館
	大塚いきいきサロン	大塚	大塚公民館
	なごやか会	小金丸西	個人宅
	白うさぎの会	稲葉	稲葉コミュニティセンター
	大石いきいきサロン	大石	大石公民館
	親山ふれあいサロン	親山	親山区自治公民館
桜野	いきましよう会	野北浜	野北浜公民館
	笑老会	桜井東	谷公民館
	さわやか会	桜井東	末松自治会館
	なごみ会	桜井東	桜井自治会館
	川上福祉会	川上	川上公民館
	大町サロン	大町	大町公民館
	間少路クラブ	間少路	間少路公民館

	本村いきいきサロン	本村	本村公民館
	はつらつ会	川上	川上公民館
引津	岐志浜いきいきサロン	岐志浜	岐志浜公民館
	岐志岡いきいきサロン	岐志岡	岐志岡公民館
	野辺・福ノ浦いきいきサロン	野辺・福ノ浦	福ノ浦公民館
	東貝塚サロン	東貝塚	東貝塚公民館
	新町いきいきサロン	新町	新町公民館
	元気会	芥屋	芥屋公民館
	みんなの広場	西貝塚	西貝塚公民館
	いきいきサロン船越	船越	船越公民館
	寺山いきいきサロン	寺山	寺山公民館

・サロン代表者会（研修含む）

開催日	事業内容	講師等	会場	対象者数
6月7日	サロン代表者研修会 「介護予防と感染予防」	特定 NPO 法人 介護予防で日本を元気にする会 大群千鶴 氏	深江コミセン	14人
6月21日			あごら	52人
6月28日			ふれあい	29人
2月21日	二丈地区サロン代表者会 「活動報告及び申請等について」	市社協	深江コミセン	16人
2月22日	志摩地区サロン代表者会 「活動報告及び申請等について」	市社協	ふれあい	32人
2月24日	前原地区サロン代表者会 「活動報告及び申請等について」	市社協	あごら	59人
3月23日	事務相談会 (二丈地区)	事務支援ボランティア (市社協)	二丈苑	0団体
3月24日	事務相談会 (志摩地区)	事務支援ボランティア (市社協)	ふれあい	1団体
3月28日	事務相談会 (前原地区)	事務支援ボランティア (市社協)	あごら	3団体

・サロンボランティア団体の代表者会及び会員研修会

開催日	事業内容	講師等	会場	参加者数
9月13日	サロンボランティア研修会 「楽しい健康リズム体操」	本庄 尚子 氏	あごら	34人
	代表者会	市社協		6人
3月3日	サロンボランティア研修会 「高齢者とのコミュニケーションと介護予防について」	特定 NPO 法人 介護予防で日本を元気にする会 大群千鶴 氏	あごら	29人
	代表者会	市社協		6人

・サロンボランティア派遣実績

	令和4年度	参考（令和3年度）
登録団体数	9団体	9団体
派遣サロン数	150回	69回
活動人数（延べ）	372人	160人
<p>【ボランティア団体名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はつらつマイスターズ ・はるか ・いとのか ・セラピューティックケア「ハーモニー」 ・ジネスボランティア※年度途中より休止 ・回想法ボランティア「つんのーて」 ・食生活改善推進会 ・DVD 上映ボランティア銀幕 ・サロン事務支援ボランティア 		

・サロン支援ボランティア団体説明会&個別相談の実施

近年、団体より高齢化による会員の減少、新たな会員獲得の難しさを感じるとの声が寄せられていることを受け、全団体の活動について紹介する説明会を開催。

開催後、団体からは「一度で成果が得られるとは考えていないが、紹介してもらえる場は貴重で継続してほしい」「専門の講師に習わないと会員にはなれないが、知ってもらえたことはうれしい」「その場で初の男性会員の獲得につながり、積極的に参加してくれる人と出会うことができ、会員も喜んでいる」といった声が寄せられた。

開催日	11月22日
場所	市健康福祉センターあごら
一般参加者	17人
ボランティア参加者	16人
開催内容	各団体よりボランティア活動の実演や資料を用いた活動紹介をした後、加入希望者やその他参加者からの個別相談に応じた。

・薬剤師会の派遣実績

サロンへの薬剤師の派遣実績 1回

(9) 特別支援学校高等部送迎バス運行事業（福岡県委託事業）

生の松原特別支援学校高等部の生徒の通学支援のためのバス運行事業

・生の松原特別支援学校高等部登録者数 13人

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登校	177	274	307	198	42	264	278	302	197	221	270	174	2,704
下校	178	266	307	206	45	272	279	301	198	225	264	173	2,714
計	355	540	614	404	87	536	557	603	395	446	534	347	5,418

（参考：令和3年度 登録13人 延べ4,403人）

(10) 手話奉仕員養成研修事業

開催期間 9月7日～2月8日

内容 入門講座(20回)基礎講座は、次年度開催

※コロナ禍により令和3年度未実施6回を4月1日～4月20日開催

(11) 障がい支援区分認定調査事業

調査件数 52件 (内訳:新規19件 更新29件 再申請3件 区分変更1件)

障がい種別 ・身体20件 ・精神8件 ・療育11件 ・身体,療育7件

・身体,精神2件 ・診断書1件 ・難病1件 ・無し2件

(参考:令和3年度68件)

(12) 移動支援(集団型)

生の松原特別支援学校高等部の生徒の通学支援のためのバスの介助員派遣

単位:人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学校日	15	19	22	15	3	18	21	21	17	15	19	15	200
延べ派遣者数	60	78	88	60	12	72	84	86	68	60	84	60	812

(参考:令和3年度 延べ406人)

(13) 生活支援体制整備事業

- 生活支援体制整備推進協議会の設置、運営
生活支援体制整備事業の進捗状況や地域ささえあい会議の進捗状況、地域課題の共有などを協議
第1回開催日 6月8日 参加者 19人
第2回開催日 10月20日 参加者 18人
第3回開催日 2月1日 参加者 19人
- 市との連絡会議（定例会）
推進協議会に向けての協議や生活支援体制整備事業の運営に関する協議の場
年4回開催
- 第2層生活支援コーディネーター（第2層SC）の支援
毎月SC連絡会議を開催し、情報共有や業務に対する相談などを受けながら支援にあたった。
会議の回数 12回
- 住民主体の生活支援活動を担う人材養成講座の開催
深江コミュニティセンターとあごらにて「地域ささえあいサポーター養成講座」（3日間）を開催。また、講座修了者の中で、申し込みをされた人にサポーター登録をしてもらった。
なお、地域ささえあいサポーターステップアップ講座を地区別サポーター交流会にあわせて開催した。
地域ささえあいサポーター養成講座 受講者 56人
地域ささえあいサポーター登録者 39人が登録
地域ささえあいサポーターステップアップ講座 申込者 98人
- 社会資源調査、ヒアリング等
第2層SCと連携して「高齢者にやさしい生活サポート情報誌」の掲載済み団体と新規掲載団体を含めた情報の収集・調査を経て更新した。
- 地域ささえあい会議（第2層協議体）の設置推進
全ての校区で2回以上の開催ができた。会議を通して地域課題の共有や情報交換ができ、課題解決の取り組みが企画された。

(14) 糸島市あんしん生活サポート事業（総合事業訪問B）

- 地域ささえあい推進員連絡会議
糸島市あんしん生活サポート事業の調整役として小学校区に地域ささえあい推進員を配置し連絡会議を毎月開催。情報交換、情報提供をはじめ、コーディネートの詳細協議や新しいメニューの開発、サポーターに対する活動支援に関する協議などを行った。
地域ささえあい推進員連絡会議 年10回開催
※8月、9月はコロナ禍のため中止。代替えとして少人数でミーティングの実施。

- 利用者実績

様々な機会で事業の周知や包括支援センターへの事業の周知も進み利用者が増加している。サポート内容としては、ごみ出し支援が全体の83%あり、その他は買い物支援と草取りであった。

利用者：48人（令和3年度38人）

サービス内容：ごみ出し876件、買い物他184件 計1,060件
（令和3年度800件）

- 校区別サポーター交流会

校区担当の地域ささえあい推進員が校区別交流会を企画・運営。活動が住民主体であることの意義づけや、推進員のリーダーシップ、サポーター相互の連帯感を高めることができている。交流会には地域包括支援センター職員や民生委員児童委員が参加することもあり、高齢者に対する事業等について情報共有ができるとともに、高齢者にやさしい生活サポート情報誌の新たな掲載候補の情報発掘にもつながっている。

13校区：14回開催 延べ184人参加（前原南・長糸校区未実施）

※一貴山校区、深江校区、福吉校区の3校区は合同開催

（15）アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

複数分野にまたがる複合化・複雑化した課題を抱えているために、必要な支援が届いていない人に支援を届けるもので、具体的には各種会議や支援関係機関との連携を通じて、地域の状況等にかかる情報を幅広く収集するとともに、地域住民とのつながりを構築する中で、課題を抱える相談者を見つけ、本人への継続的な関わりを持ち相談支援にあたった。

- 福祉まるごと相談

福祉まるごと相談窓口を設置し、コミュニティソーシャルワーカーが当事者や関係者からの相談を受け、伴走型の支援を行った。

月1回、相談内容や支援状況について確認をする会議を開催し、継続支援を実施するかの協議を行った。

相談者数 439件（新規123件、継続316件）

相談形態 面談182件、電話403件、メール8件、訪問21件

- アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

多機関協働により、課題解決に向けた相談支援を実施する。相談者と継続的な関わりを持つために、信頼関係の構築に向けた丁寧な働きかけを行った。

相談者数 401件（新規85件、継続316件）

支援回数 訪問31件、面接163件、電話348件、メール56件、手紙52件、物資支援27件、同行支援9件、その他6件

- プラン作成、支援会議への参加

プラン作成数 1件

多機関協働事業、参加支援事業とともにプランの作成。

支援会議への参加 5回

多機関協働事業の呼びかけによる支援会議に参加し、課題の整理や支援における役割分担を行った。

- 潜在的な相談者の把握

認知症カフェ「長系みらいカフェ」での出張相談会の実施

出張相談開催数 11回

相談者数 5件（新規5件）

二丈地区フードパントリーでの出張相談及びアンケート記入者へのアプローチ

フードパントリー協力数 11回

相談者数 49件（新規12件、継続37件）

校区社会福祉協議会の高齢者等の見守り事業の推進

高齢者の集い事業 開催数 13回（6校区）、参加者数 882人

見守り訪問 事業回数 72回（15校区）、訪問件数 16,102件

（16）参加支援（人や場所とのつながり支援）事業

既存の社会参加に向けた事業では対応できない方や人や場所とつながりにくい方のために、本人及びその世帯のニーズや抱える課題などを丁寧に把握し、地域の社会資源と支援メニューとのコーディネートを実施しマッチングを行った。

また、既存の社会資源への働きかけ等により社会資源の充実を図り、支援ニーズに合った支援メニューを創出する。また、マッチング後において、希望に沿った支援が出来ているかフォローアップを実施し、社会との関係性の構築に向けた支援を行う。

- 福祉まるごと相談（アウトリート等を通じた継続的支援事業）

福祉まるごと相談窓口を設置し、コミュニティソーシャルワーカーが当事者や関係者からの相談を受け、伴走型の支援を行った。

月1回、相談内容や支援状況について確認を行う会議を開催し、継続支援について協議を行った。

相談者数 439件（新規123件、継続316件）

相談形態 面談 182件、電話 403件、メール 8件、訪問 21件

- 参加支援（人や場所とのつながり支援）事業

既存の事業や社会との関係を保つことができない方やその家族に丁寧に相談支援を行い、地域の社会資源や支援メニューとのコーディネートを行う。相談者に寄り添いながら社会とのつながりづくりに向けた支援を行う。

相談者数 229件（新規20件、継続209件）

支援回数 訪問 12件、面接 103件、電話 225件、メール 55件、手紙 46件

物資支援 13件、同行支援 5件、その他 6件

つなげようとした場の数 136件

- プラン作成、支援会議への参加

プラン作成数 1 件

多機関協働事業、アウトリート等を通じた継続的支援事業とともに、プランの作成。

支援会議への参加 4 回

多機関協働事業の呼びかけによる支援会議に参加し、課題の整理や支援における役割分担を行った。

・人や場所とのつながり支援の実施

ひきこもりを考える講演会の開催

開催日 7 月 23 日

場所 あごら

講師 長阿彌 幹生 氏（教育文化研究所 代表）

児玉 光司 氏

参加者 29 人

ひきこもりに関する家族の悩みを分かちあう場所「笑顔の集い」の開催

開催数 6 回（奇数月に開催）

延べ参加者数 62 人

人や社会とのつながりのための居場所づくり

日ごろ家に閉じこもりがちな方、課題・悩み事がある方等の社会参加の場として、「ゆるゆるカフェ」「ゆるゆるプランター農園」を開催。

ゆるゆるカフェ開催数 12 回（毎月開催）

ゆるゆるカフェ参加者数 82 人

ゆるゆるプランター農園参加実人数 6 人

（17）共助の基盤づくり事業（支え合いの地域づくり支援事業）

身近な地域において誰もが安心して生活を維持できるよう、地域住民相互の支え合いによる共助の取り組みの活性化を図りつつ、支援が必要な人と地域とのつながりを適切に確保する。

・地域の福祉ニーズを把握するために必要となる事業

校区社協を通じて年 2 回地域ささえあい会議を開催し、地域活動の情報共有や地域課題の検討を行い、必要に応じて新たな取り組みを実施した。

地域ささえあい会議の内容は校区により特色が出ており、地域の即した会議が進められた。

会議は生活支援体制整備事業と合同で実施し、高齢者のみならず、すべての世代を対象とした会議を実施した。

地域ささえあい会議の回数 36 回（15 校区）

地域ささえあい会議の調整 30 回（事前協議など）

- 地域住民の活動支援・情報発信等

校区社協や地域住民の福祉活動や様々な団体等の支援や情報発信の実施。

校区社協関係の会議の開催 3回

校区社協の活動支援 39回

小地域ネットワーク福祉会の活動に関する相談支援の実施や情報交換の場となる連絡会の開催。

小地域ネットワーク福祉会連絡会 1回

小地域ネットワーク福祉会の活動支援 4回

子ども支援団体連絡会を開催し、情報提供や各団体の情報共有を図り、活動支援を実施した。また、中学校の先生との意見交換会を実施した。

子ども支援関係会議等 3回

地域課題の解決等に向けた新たな対応の創出に取り組んだ。

地域住民や団体等の支援等 376回

ボランティア活動に関する活動支援や情報提供。

ボランティア活動の支援等 276回

- 地域コミュニティを形成する居場所づくり

地域での新たな居場所づくりのための相談支援や現在活動されている居場所へのつなぎ、既存の居場所の相談支援の実施。

中間的就労の新たな創出に向けた取り組みで、あごら内でのデイサービスやそれいゆデイサービスでの中間的就労の認定に向けた取り組み。

居場所づくりのための支援 143回

既存の居場所への働きかけ 54回

その他の支援 3回

- 行政や地域住民、NPO等の地域づくりの担い手がつながるプラットフォームの展開

我が事・丸ごと研究大会を開催し、地域共生社会の実現に向け住民意識の向上に努めた。

我が事・丸ごと研究大会の開催 1回

我が事・丸ごと研究大会の調整 8回

その他の支援 21回

(18) 生活困窮者自立支援相談事業

令和4年度は、重層的支援体制整備事業の実施に伴い、福祉の総合相談窓口として、属性を問わない「断らない支援」を、関係機関との連携、協力をしながら取り組んだ。

新規相談件数は、コロナ禍当初に比べると半数に減ってはいるが、プラン件数は増加しており、内容も複雑で解決が難しく長期化する傾向にある。

(プラン作成件数90件、家計プラン68件)

・相談支援実績

単位：件

内容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
新規相談受付件数(総数)		30	37	34	32	21	29	26	23	24	29	34	30	349
継続相談受付件数(前年度からの継続者を含む)		165	179	162	163	150	157	155	148	162	163	136	159	1,899
終了者数(前年度からの継続者を含む)		20	26	20	29	25	12	8	8	5	13	2	7	175
生活困窮を経て、生活保護となった者		2	2	1	0	1	0	0	3	1	2	2	3	17
プラン作成件数(総数)		9	4	10	5	12	6	8	3	7	11	5	10	90
就労支援対象者数 (プラン期間中の一般就労を目標にしている)		5	1	4	4	7	2	6	1	3	3	3	6	45
法に 基づく 件数 事業等	住居確保給付金	0	1	0	1	4	0	0	0	2	2	0	1	11
	一時生活支援事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	家計改善支援事業	6	3	10	2	7	4	8	2	5	9	4	8	68
	就労準備支援事業	2	1	1	2	1	2	1	0	0	1	0	1	12
	就労訓練事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自立相談支援事業による就労支援	5	2	2	3	6	1	5	3	1	2	4	3	37

・会議・自主研修会実績

月	支援調整会議	月末処理会議	課内研修	自主研修等(テーマ)
4月	14日	4日	15日	15日 伝達研修(個人情報保護) 26日 伝達研修(帳票管理等)
5月	12日	6日	13日	
6月	9日	6日	17日	17日「日常生活自立支援事業」 「市民後見、法人後見の現状」
7月	14日	1日	15日	13日「リスタート携帯についての 無料オンラインセミナー」
8月	18日	1日	19日	19日「発達障がい、精神疾患の ある方への対応について」
9月	8日	2日	16日	15日「リースバックについて」 ライフソレイユ株式会社
10月	13日	3日	14日	14日 生活福祉資金 「教育支援資金について」
11月	10日	4日	18日	9日 課内ミーティング (関係機関との連携について)
12月	8日	5日	16日	「子どもと家族支援」(12/12～ オンデマンド研修 全社協主催)
1月	12日	6日	13日	「孤独孤立」 オンデマンド研修 全社協主催 (～R5.2/10)
2月	10日	4日	15日	15日 事例検討
3月	10日	4日	15日	
合計	12回	12回	12回	11回

(19) 多機関の協働による包括的支援体制構築事業

令和4年度は、重層的支援体制整備事業（以下「重層事業」という。）の本格的な実施に伴い、多機関の協働による包括的支援体制構築事業（以下「多機関協働事業」という。）として、以下の事業を推進した。

多機関協働の支援プランは1件で、複雑・複合化した課題のある世帯を作成した。10機関を招集して支援会議を行い各機関の役割や方向性を決め、情報集約窓口を多機関として支援を継続している。支援プランの件数が昨年（9件）と比較して大幅に減少したが、その9件中解決に至っていない2件のうちの1件で、子どもから介入し、同意を得られた事例で、同意を得られていない対象世帯は11件で支援会議を13回開催し、支援を継続中である。

引き続き、同意に向けてアプローチするとともに、包括的相談支援事業者に多機関への相談の流れについて周知啓発を行った。

- ・相談者等に対する支援の実施

取り組み	実績
多機関協働	・支援プランの作成 作成件数1件（継続中）
支援会議	支援対象11世帯 13回開催 地域福祉課長名で招集し、情報共有、課題の整理、役割や方向性を決める会議として開催
多機関相談	385件（新規52件、継続333件） 多機関連携の取組では、連携調整を含む1,062件となり、内訳としては、包括的相談支援事業者が最も多く484件(45.5%)で、次いで庁内各課329件(34.1%)となった。
相談支援ネットワーク 研修会	開催日 2月21日 参加者 29人 「滋賀県高島市の取組事例」 ～高島市地域生活つむぎあいプロジェクト～ 講師 高島市役所くらし連携室 清水 潤平 氏 「福岡県久留米市の取組事例」 ～地域福祉はロマンから～ 講師 久留米市役所地域福祉課 主査 上原 敬子 氏

・会議、研修、講師派遣等

<p>会議</p>
<p>①重層的支援会議（計6回 5/20 7/22 9/29 11/18 1/19 3/28） 九州大学、弁護士、社会福祉法人経営協、保健所の外部委員他、包括的相談支援事業者、関係6課、事務局（所管課、多機関協働事業者）の27人で構成し、2か月に一度開催</p> <p>②庁内連携委員会（計6回 7/6 9/9 10/27 12/22 1/6 2/28） 地域福祉課 福祉保護課 健康づくり課 介護・高齢支援課 子育て支援課 子ども課 多機関協働事業者で構成 2か月に一度開催</p> <p>③事務局会議（地域福祉課）（計13回）</p> <p>④自立支援調整会議（毎月 生活困窮者自立相談支援機関主催）</p> <p>⑤月末協議（毎月 自立支援プランの協議） ⑥市社協総合相談会議（毎月CSWとの協議）</p> <p>⑦相談支援部会（偶数月の第3金曜日） ⑧ライフレスキュー事業（6回）</p> <p>⑨子ども支援連絡会議（年2回） ⑩糸島地域若者自立支援関係機関連携会議（年1回）</p>
<p>研修</p>
<p>①ふくおかライフレスキュー事業サポーター養成講座</p> <p>②福岡県ひきこもり支援関係者研修会（7/26）</p> <p>③糸島市自立支援協議会研修会（障がい者相談支援事業）（11/11）</p> <p>④ひきこもりネットワーク会議（12/5）</p> <p>⑤人権研修会（3/29）</p> <p>⑥成年後見研修会（3/30）</p> <p>⑦令和4年度重層的支援体制整備事業推進人材養成研修（国） （9/12 11/15 1/27）</p> <p>⑧オンデマンド研修（～重層的支援体制整備事業と、その先にあるもの～ 包括的支援体制と地域共生社会・共生社会の実現に向けた総合研修）</p>
<p>講師派遣</p>
<p>①福祉委員研修会（4/15 事業紹介）</p> <p>②生活困窮相談員研修会（10/5「精神疾患を抱える方への関わり方」）</p> <p>③糸島地区居宅介護事業者連絡会（11/17 講演「重層事業」）</p> <p>④前原地区民生委員児童委員定例会（12/14 福祉の総合相談窓口を紹介）</p> <p>⑤志摩地区民生委員児童委員定例会（12/21 福祉の総合相談窓口を紹介）</p> <p>⑥新任民生委員児童委員研修会（1/13 窓口と重層事業説明）</p> <p>⑦愛媛県新居浜市市議会（1/18 視察対応）</p> <p>⑧福岡地区地域福祉活動職員研修会（1/23 講演「重層事業」）</p> <p>⑨校区社会福祉協議会会長・局長会議（2/10 事業説明）</p> <p>⑩中間的就労説明会（3/10・17 あごらデイ、それいゆデイ）</p>

(20) 市民後見推進事業

成年後見制度や市民後見人について調査することで課題の抽出を行い、今後の市民後見活動の充実を図ることを目的とし、後見ニーズ調査を実施した。

また、制度の利用促進を図るため、令和元年度に引き続き、市民後見人養成研修を開催した。令和元年度市民後見人養成研修修了者については、スキルアップ研修会を開催し、市民後見人として活動できるように推進した。市民後見推進検討委員会を開催し、糸島市での今後の市民後見推進のあり方について協議を行った。

・成年後見ニーズ調査

調査期間 4月20日～5月27日

回収方法 郵送・メール・FAX・持参のいずれか

対象	配布	回収
地域包括支援センター・基幹型地域包括支援センター	6件	6件
障がい相談支援事業所・障がい福祉サービス事業所	44件	14件
介護サービス・居宅支援事業所	66件	25件
民生委員・児童委員	170名	119名

・市民後見人養成研修

会場 あごら視聴覚室

研修時間 全45時間

申込者数 23名（修了者18名）

開催日時	研修テーマ	講師	参加
10月1日 10:00 ～16:00	<ul style="list-style-type: none"> ・開講式・オリエンテーション ・成年後見制度概要 ・成年後見制度各論Ⅰ ・成年後見制度各論Ⅱ 	事務局 成年後見センター・リーガルサポート 司法書士 山崎 貴子 氏 司法書士 稲毛 翔平 氏 司法書士 安樂 美和 氏	21人
10月8日 10:00 ～16:00	<ul style="list-style-type: none"> ・市民後見概論 ・介護保険・高齢者施策への取り組み状況 ・障害者施策への取り組み状況 	筑紫女学院大学教授 山崎 安則 氏 糸島市介護・高齢者支援課 平賀 茂 氏 糸島市地域福祉課 日高 秀朗 氏 田中 修二 氏	19人
10月15日 10:00 ～16:00	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見を取り巻く関係諸制度の基礎 ・対象者の理解（高齢者・認知症の理解） 	公益社団法人 福岡県社会福祉士会 社会福祉士 野中 勝治 氏	21人
10月22日 10:00 ～16:00	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者理解（障がい者の理解） ・権利擁護と意思決定支援 	公益社団法人 福岡県社会福祉士会 社会福祉士 野中 勝治 氏	21人
11月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・民法の基礎 	福岡県弁護士会弁護士 松本 拓馬 氏	17人

10:00 ~16:30	<ul style="list-style-type: none"> 家庭裁判所の役割 消費者保護について 	福岡家庭裁判主任書記官 木下 美保子 氏 消費者支援機構福岡司法書士 稲毛 翔平 氏	
11月13日 10:00 ~16:00	<ul style="list-style-type: none"> 成年後見の実務①申立て手続き書類の作成 成年後見の実務②財産目録の作成 演習①申立て手続きの作成 	特定営利活動法人高齢者・障害者安心サポートネット 業務部 原田 隆行 氏 業務部 原田 隆行 氏 社会福祉士 久保田 純枝 氏	18人
11月26日 10:00 ~16:00	<ul style="list-style-type: none"> 成年後見の実務③後見計画収支予定の作成 成年後見の実務④報告書の作成 演習②後見計画・報告書の作成 	特定営利活動法人高齢者・障害者安心サポートネット 社会福祉士 久保田 純枝 氏 久留米出張所業務部担当 生地 篤 氏 業務部長 豊留 一 氏	18人
12月17日 10:00 ~16:00	<ul style="list-style-type: none"> 成年後見の実務⑤後見付与申立ての実務 成年後見の実務⑥後見終了時の手続き/死後事務 演習③後見事務修了の続き 	特定営利活動法人高齢者・障害者安心サポートネット 業務部長 豊留 一 氏 NPO法人地域生活・死後事務安心サポートネット 副理事長 安田 豊 氏 業務部 原田 隆行 氏	18人
12月24日 10:00 ~14:30	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉/生活困窮自立支援制度他 地域福祉/日常生活自立支援事業 修了式 	社会福祉協議会経営管理課課長 加藤 博貴 社会福祉協議会地域課課長 野中 保雄 事務局	18人

・市民後見人養成研修 修了者スキルアップ研修

場所 あごら視聴覚室

研修時間 全4時間

対象 令和元年度市民後見人養成研修修了者で市民協力員の登録者14名に案内

開催日時	研修テーマ	講師	参加
8月6日	<ul style="list-style-type: none"> 「コミュニケーション論」 認知症の症状と接し方 	久留米大学病院 精神保健福祉士 霧久 裕貴 氏	9人
3月4日	<ul style="list-style-type: none"> 知って防ごう！悪質商法 	糸島市役所商工振興課 伊佐 裕子 氏	10人

・市民後見推進検討委員会

開催日 2月17日

場所 あごら会議室

参加者 市民後見推進検討委員5名、市役所地域福祉課3名、市社協事務局2名

報告 後見ニーズ調査、令和4年度市民後見人養成研修、
市民支援員活動について

議事 令和5年度市民後見推進事業計画案、糸島市地域福祉計画の改定について、
市民後見推進検討委員会の位置づけについて

11. その他（社会福祉法人の公益的な取り組みも含む）

（1）第三者委員会

- ・苦情解決・第三者委員会

11月18日（報告期間：令和3年10月～令和4年9月まで）

（2）傷害・賠償報告

自損事故が多く、職員で修繕する。

- ・事業関係 7件
- ・車両関係 8件（保有台数76台 対物、自損、対人 参考：令和3年度9件）

（3）ライフレスキュー事業の実施

ふくおかライフレスキュー事業では、糸島市内の社会福祉法人が連携を行い、糸島地区連絡会を開催して、困窮者に対する支援をフードバンク糸島ハピネスからの食料支援も含め相談支援を行った。

[支援件数]

相談件数	6件
支援件数	6件
現物給付件数	4件

[支援内容]

- ・精神疾患を有するホームレス支援（46,188円）
- ・自己主張が激しいご近所トラブルのある方への支援（23,790円）
- ・永住権を持たない精神疾患のある外国人支援（60,257円）
- ・ベースに発達がある方への就労支援（73,824円）
- ・ゴミ屋敷支援2件

糸島地区連絡会の開催

市社協は、連絡会事務局を担当し、連絡会を6回開催した。コロナ禍でWEBを利用した連絡会の開催や、対面とWEBと合わせた連絡会の開催など工夫を行い、支援した事例の検討や新規相談についての検討を行った。

また、特に中間的就労のあり方について議論を重ね、各施設への周知啓発に努め、市社協としてもデイサービス事業を県に申請し2か所が承認された。

1 2. 介護保険事業・障がい福祉サービス事業

①居宅介護支援事業

糸島市社会福祉協議会ケアプランセンター

1.総括

今年度も職員数(総合職2名・一般職3名・再雇用2名・パート2名)は変わらないままだったが、利用者総数は前年度を上回った。困難ケースは5件あり、全て前原東地域包括支援センターからの依頼だった。身体的虐待やネグレクト・独居でご近所とのトラブル・認知症による頻繁な警察への通報等があり、通常業務以上の手間や時間を要した。介護予防者数は前年度より減少した。今年に入り、新型コロナウイルス感染症による利用者側からの訪問自粛の要望も少なくなり、通常の業務体系に戻りつつある。

2.実績

(1) 要介護度別利用者数

単位：件

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	述べ
要支援1	4	5	6	6	6	5	5	4	4	5	4	5	5	59
要支援2	12	11	10	13	13	16	15	14	13	14	13	14	13	158
要介護度1	73	73	76	79	76	71	71	77	79	78	72	76	75	901
要介護度2	73	81	78	75	75	76	76	77	79	76	74	76	76	916
要介護度3	41	40	38	37	39	38	41	42	41	36	35	35	39	463
要介護度4	25	25	25	26	25	29	26	20	21	22	22	22	24	288
要介護度5	17	17	17	16	17	16	16	15	16	15	15	14	16	191
令和4年度計	245	252	250	252	251	251	250	249	253	246	235	242	2,976	
令和3年度計	239	239	239	244	246	245	249	249	244	239	238	240	2,911	

(2) 介護支援専門員一人当たり平均件数

令和4年度 28件

令和3年度 27件

(3) 新規利用件数(年度の新規件数)

令和4年度 79件

令和3年度 88件

糸島市社会福祉協議会二丈ヘルパーステーション

1 総括

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症流行下で職員が出勤できなくなることや、サービス提供責任者が3名より2名に減ってスタートしたこともあり、サービス提供体制の不安定さが否めず、新規に利用者の受け入れが困難だった。

毎日支援が必要な利用者が突然の入院や入所を繰り返され、計画通りの支援にならないことも目立った。サービス提供体制の充実を図り、利用者の受け入れの拡充に努める。

2 実績

(1) サービス内容別提供時間

単位：時間

支援内容/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間数(年)	
													4年度	3年度
身体介護 時間	78.0	83.0	87.8	86.5	75.8	65.0	66.3	73.5	64.5	62.8	61.3	95.3	899.8	1,398.1
身体生活 時間	44.8	36.8	72.5	99.5	115.5	92.5	114.5	118.0	63.5	55.3	68.5	48.7	930.1	1,062.3
生活援助 時間	249.6	260.3	245.0	274.6	267.5	244.5	278.3	266.8	230.0	206.8	183.8	235.1	2,942.3	3,940.5
令和4年度計	372.4	380.1	405.3	460.6	458.8	402.0	459.1	458.3	358.0	324.9	313.6	379.1	4,772.2	/
令和3年度計	390.3	459.2	509.5	517.1	483.5	474.3	460.9	449.9	467.1	456.8	442.1	420.0	/	5,530.7

(2) 認定区分別利用者数

単位：人

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	延べ
要支援1	9	9	9	8	8	8	7	6	5	5	5	5	7.0	84
要支援2	9	17	16	18	16	15	18	19	16	14	15	15	15.7	188
要介護1	11	10	10	12	11	11	9	10	10	10	9	9	10.2	122
要介護2	6	5	6	7	6	7	9	9	9	7	9	9	7.4	89
要介護3	3	3	2	2	1	2	1	1	1	2	1	1	1.7	20
要介護4	1	1	2	2	3	3	3	3	3	2	1	1	2.1	25
要介護5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	4.1	49
令和4年度計	43	49	49	53	49	50	51	52	48	44	44	45	48.1	577
令和3年度計	42	49	51	57	53	56	51	53	55	56	52	51	52.2	626

(3) 自主事業

単位：人、時間

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	1	2	3	3	3	3	3	3	1	1	1	1	25
時間	5.5	7.5	11.5	17.5	20.0	14.0	32.0	20.0	4.5	5.0	5.0	5.5	148

糸島市社会福祉協議会志摩ヘルパーステーション

1 総括

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大が続いたが、影響を受けることもなく利用者数は増加した。内訳は新規利用者36名、入院や死亡による中止が29名であった。年間の利用者は月平均5名程度増加したが支援時間数は減少した。

要因として介護度別で見ると要支援者の増加が顕著で、身体介護より日常生活のサポートで在宅生活の維持ができる方も多かった。介護度の高い利用者のサービス提供については、利用期間が短く、一日あたりの訪問が15分から30分以内など短時間であったことも総支援時間の減少に反映されており、今後も自立支援に向けてケアの継続に努める。

2 実績

(1) サービス内容別提供時間

単位：時間

支援内容/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間数(年)	
													4年度	3年度
身体介護 時間	167.0	192.0	186.5	194.5	192.0	160.0	178.5	182.5	185.0	158.5	161.5	165.0	2,123.0	2,734.5
身体生活 時間	140.0	95.5	45.0	47.5	51.0	42.0	46.5	59.5	80.0	92.5	119.0	116.5	935.0	735.5
生活援助 時間	404.0	401.0	392.0	392.0	401.5	361.0	342.5	341.5	362.5	328.0	314.5	406.0	4,446.5	4,255.5
令和4年度計	711.0	688.5	623.5	634.0	644.5	563.0	567.5	583.5	627.5	579.0	595.0	687.5	7,504.5	/
令和3年度計	592.5	558.5	630.5	671.0	677.0	646.5	670.5	658.5	663.0	621.0	611.5	710.0	/	7,725.5

(2) 認定区分別利用者数

単位：人

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	延べ
事業対象者	3	3	3	3	3	3	4	4	4	3	3	3	3.3	39
要支援1	13	14	14	14	11	10	10	12	13	14	12	16	12.8	153
要支援2	27	25	27	28	28	27	28	27	28	27	25	27	27.0	324
要介護1	12	10	7	7	7	7	8	9	10	12	13	11	9.4	113
要介護2	12	13	11	10	8	6	9	9	9	10	8	8	9.4	113
要介護3	4	5	5	5	5	4	2	3	3	2	4	5	3.9	47
要介護4	8	8	9	11	10	7	9	9	8	6	7	6	8.2	98
要介護5	3	2	3	3	3	4	4	4	3	3	5	3	3.3	40
令和4年度計	82	80	79	81	75	68	74	77	78	77	77	79	77.3	927
令和3年度計	65	64	70	71	74	73	74	74	72	76	78	80	71.8	862

(3) 自主事業

単位：人、時間

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	1	1	0	1	3	0	2	3	2	3	1	1	18
時間	1.5	1.0	0.0	0.5	4.0	0.0	2.5	6.0	4.5	7.0	2.0	0.5	29.5

③通所介護事業

糸島市社会福祉協議会デイサービスセンター

1 総括

令和4年度においても、新型コロナウイルス感染症に対する感染対策を行いながらの開催であったが、通所を長期欠席されていた方も再開への動きが少しずつ見え始め、また体験利用者や新規利用者の受け入れも積極的に行っていた。

一方で、施設入所や死亡される方もあり、全体的な数字としては依然伸び悩みが見られ、また職員から新型コロナウイルス感染症の陽性者が出た事により、8月に1日間閉所、3日間規模を縮小して開催となった事も、収益に大きな影響を与えてしまった。

次年度は新型コロナウイルス感染症が5類へ移行となるものの、引き続き感染予防策への取り組みを行いながら、機能訓練や入浴等、安心安全なサービスの提供を行うとともに、レクレーションや各種行事、ボランティアの受け入れなど、これまで制限されていた部分の再検討を行い、利用者増や収益アップ、利用者の満足度アップに努めていきたいと考える。次年度は再度、事業所評価加算の算定が可能となる。

2 実績

(1) 介護日数

単位：日

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	22	21	22	22	21	22	21	22	20	20	20	23	256

(2) 要介護度別登録者数及び利用者数

単位：人

認定区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数		
															月平均	延べ
事業対象者	実利用者数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	延利用者数	9	8	7	10	5	6	8	8	8	8	6	9	8	8	92
要支援1	実利用者数	11	10	10	10	9	9	9	9	8	10	8	8	9	111	
	延利用者数	40	39	45	37	31	34	30	34	27	33	30	33	34	413	
要支援2	実利用者数	22	21	21	20	19	21	21	22	22	19	20	20	21	248	
	延利用者数	152	144	149	137	105	129	140	162	127	142	145	149	140	1,681	
要介護度1	実利用者数	23	23	25	25	22	22	23	23	21	20	23	26	23	276	
	延利用者数	230	237	250	254	206	223	218	214	194	196	212	263	225	2,697	
要介護度2	実利用者数	15	17	14	13	11	12	11	13	14	15	14	14	14	163	
	延利用者数	151	138	136	109	79	86	79	74	85	81	102	109	102	1,229	
要介護度3	実利用者数	8	7	7	7	8	8	7	8	8	6	6	7	7	87	
	延利用者数	84	82	79	76	67	77	79	83	67	53	56	75	73	878	
要介護度4	実利用者数	6	6	6	8	9	9	8	8	8	8	10	9	8	95	
	延利用者数	72	70	70	65	88	94	83	91	80	64	54	78	76	909	
要介護度5	実利用者数	4	4	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	3	33	
	延利用者数	39	38	33	33	27	33	30	17	13	16	16	18	26	313	
令和4年度計	実利用者数	91	90	88	88	83	86	84	87	85	84	84	87	86	1,037	
	延利用者数	778	758	774	728	612	691	665	676	599	572	603	726	729	8,182	
令和3年度計	実利用者数	91	88	85	88	84	90	92	97	99	92	89	86	90	1,081	
	延利用者数	756	737	761	712	514	796	790	793	714	695	679	732	723	8,679	

*8月は1営業日(8/23) コロナにより閉所し、3営業日(8/24~26)は規模を縮小しての開催。

糸島市社会福祉協議会 デイサービス「福寿苑」

1 総括

令和4年度は、新規利用者が15名と前年度より大幅に増加した。利用終了者も数名あったが、定期的に体験利用の依頼が増えた。利用回数を増やされる方や共生型生活介護（障がい福祉サービス）の新規利用者もあり徐々にではあるが利用者数の増加へとつながった。

新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年6月には福寿苑でクラスターが発生し1週間の閉鎖となった。以後も新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が長期休まれる事もあり収益減少となった。

令和5年度は職員の入れ替わりもあり、新しい体制で共生型生活介護を含め利用者の増加に努めるとともに、外部ボランティアの受け入れ等を行い利用者のサービス満足度の向上につなげる。

2 実績

(1) 介護日数

単位：日

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	27	26	19	26	27	25	26	26	26	24	24	27	303

(2) 要介護度別登録者数及び利用者数（延べ件数）

単位：人

認定区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
															延べ
事業対象者	実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	実利用者数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	4	26	2
	延べ利用者数	7	7	7	9	8	8	9	9	8	6	7	17	102	8
要支援2	実利用者数	2	2	2	4	4	4	4	4	4	4	5	5	44	4
	延べ利用者数	17	19	6	23	25	26	26	25	27	33	26	31	284	24
要介護度1	実利用者数	7	7	6	7	7	6	6	6	6	5	6	6	75	6
	延べ利用者数	74	88	48	88	80	70	73	77	78	64	77	91	908	76
要介護度2	実利用者数	3	2	2	2	2	2	2	2	1	3	2	3	26	2
	延べ利用者数	37	34	27	34	35	33	33	22	3	23	36	41	358	30
要介護度3	実利用者数	4	3	3	2	1	1	1	2	2	2	2	2	25	2
	延べ利用者数	25	17	10	12	9	4	15	31	25	32	31	35	246	20
要介護度4	実利用者数	2	2	1	2	1	2	3	3	3	3	2	2	26	2
	延べ利用者数	8	10	3	6	6	9	14	35	36	26	28	31	212	18
要介護度5	実利用者数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	23	2
	延べ利用者数	18	18	15	16	15	18	19	20	17	18	16	15	205	17
共生型	実利用者数	2	2	2	2	2	2	2	1	2	3	3	3	26	2
	延べ利用者数	16	23	20	26	32	25	32	9	17	15	28	38	281	23
令和4年度計	実利用者数	24	22	20	23	21	21	22	22	22	24	24	26	271	23
	延べ利用者数	207	206	136	218	215	196	222	226	211	209	249	301	2,596	216
令和3年度計	実利用者数	21	20	19	20	18	19	20	20	21	20	17	19	234	20
	延べ利用者数	203	205	186	224	170	179	179	185	193	176	163	209	2,272	189

糸島市社会福祉協議会デイサービスセンターそれいゆ

1 総括

令和4年度は、令和3年度よりも利用者延べ人数が減少している。要因としては、新規利用者が獲得できていない事と長期間それいゆを利用させていただいた利用者が死亡や施設入所等の理由で利用中止になったことが要因である。

新規利用者を獲得していくためケアプランセンターや地域包括支援センターとの積極的な交流や、デイサービス内活動の効果的な広報に努める。

また、デイサービス内の活動において新型コロナウイルスにより積極的な活動を実施できていなかったため活動内容を職員全体で吟味し、利用者に関心興味のある活動や四季を感じてもらえる活動、ボランティア団体の受け入れを感染対策を考慮しながら検討し楽しみの提供に力を入れたい。

職員については、配置転換もあり、業務の役割分担を再構築する必要がある。リハビリの充実、生活相談員の相談能力強化、介護と看護の質の向上を図り、信頼される事業所づくりに努める。

2 実績

(1) 介護日数

単位：日

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	28	28	28	31	359

(2) 要介護度別登録者数及び利用者数（述べ件数）

単位：人

認定区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数		
															月平均	延べ
事業対象者	実利用者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	延利用者数	4	4	4	4	4	4	4	3	4	3	4	5	4	4	47
要支援1	実利用者数	2	2	1	2	2	2	2	2	2	3	3	3	2	2	26
	延利用者数	5	6	4	8	6	6	6	10	8	13	13	11	8	8	96
要支援2	実利用者数	10	11	13	12	10	12	13	12	13	13	10	10	12	12	164
	延利用者数	70	76	89	76	58	81	82	81	76	78	69	64	75	75	900
要介護度1	実利用者数	14	12	12	13	11	11	10	12	13	15	16	13	13	13	152
	延利用者数	178	141	141	159	132	115	125	128	114	138	149	146	139	139	1,666
要介護度2	実利用者数	9	11	8	9	9	9	10	10	10	9	10	7	9	9	111
	延利用者数	114	102	99	93	119	105	120	123	110	91	91	90	105	105	1,257
要介護度3	実利用者数	6	5	5	5	5	7	6	6	6	7	7	7	6	6	72
	延利用者数	73	74	67	64	64	74	88	83	76	57	86	89	75	75	895
要介護度4	実利用者数	4	3	3	3	4	3	3	3	3	2	2	2	3	3	35
	延利用者数	37	34	28	30	33	25	28	26	26	10	8	11	25	25	296
要介護度5	実利用者数	2	2	2	2	2	2	4	4	4	3	3	2	3	3	32
	延利用者数	27	22	27	26	10	26	49	40	40	12	12	8	25	25	299
共生型	実利用者数	2	1	1	0	1	2	2	1	2	2	2	2	2	2	18
	延利用者数	3	1	1	0	1	4	13	8	9	8	9	8	5	5	65
令和4年度計	実利用者数	48	47	45	47	44	47	49	50	52	53	52	45	48	48	579
	延利用者数	497	459	459	460	426	436	502	494	454	402	432	424	454	454	5,445
令和3年度計	実利用者数	49	50	58	52	53	52	52	53	49	50	47	49	51.2	51.2	614
	延利用者数	506	539	562	590	474	570	537	546	473	488	466	487	520	520	6,238

(3) 泊まり（自主事業）

単位：日、人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	2	3	3	2	2	1	2	1	2	2	4	2	26
実利用者数	2	2	2	1	2	1	2	1	1	2	2	2	13
延利用者数	3	3	3	2	4	1	2	1	2	2	4	2	24

④障がい居宅介護事業

糸島市社会福祉協議会ヘルパーステーション（障害居宅介護）

1 総括

令和4年度は、新型コロナウイルスの影響もあったが少しずつ新規の依頼も増加している。ヘルパーの高齢化も進んでおり、従業員の確保も課題になっている。より安心・安全に支援できるように努める。また、喀痰等吸引の有資格者を12名に増員することで、更に多様なニーズに対応できるように努める。

(1) サービス内容別利用者数及び提供時間

単位：時間

支援内容/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間数
身体介護 時間	171.5	170.4	174.1	133.3	125.3	124.0	190.5	185.2	178.6	173.5	157.5	113.5	1,897.4
生活援助 時間	163.2	161.2	199.0	195.2	174.5	182.4	195.3	190.4	197.3	184.4	168.3	181.0	2,192.2
移動支援 時間	8.5	21.1	25.5	15.4	1.0	6.0	11.3	16.6	10.3	6.0	11.0	11.5	144.2
行動援護 時間	13.2	12.0	14.0	14.1	6.3	13.2	8.4	14.4	11.2	2.0	11.4	3.0	123.2
同行援護 時間	0.0	23.6	37.3	23.3	6.3	10.2	12.0	7.0	9.3	2.3	3.0	9.0	143.3
重度訪問 時間	132.1	112.4	71.2	70.3	60.5	51.5	69.4	74.2	64.3	59.2	60.0	30.6	855.7
令和4年度計	488.5	500.7	521.1	451.6	373.9	387.3	486.9	487.8	471.0	427.4	411.2	348.6	5,356.0
令和3年度計	430.1	430.4	410.7	409.3	385.0	322.5	412.2	399.7	420.3	405.1	354.3	513.8	4,893.4

(2) 障害程度区分別利用者数

単位：人

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	延べ
障害程度区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害程度区分2	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
障害程度区分3	9	9	8	9	9	9	9	9	9	9	9	8	8.8	106
障害程度区分4	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	1	1	1.3	15
障害程度区分5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5.9	71
障害程度区分6	4	5	5	4	3	5	5	4	4	4	4	4	4.3	51
令和4年度計	25	26	25	25	24	26	26	26	26	26	25	23	25.2	303
令和3年度計	23	22	22	23	20	21	22	21	21	21	21	22	21.6	259

糸島市社会福祉協議会二丈ヘルパーステーション（障害居宅介護）

1 総括

令和4年度も引き続き総支援時間が、わずかに延びて安定がみられる。今年度より特定事業所加算も申請し、収入増に務めた。前年度二人介助で入浴支援していた利用者が動きがよくなり、一人介助で支援可能になったり、その分を一緒に調理をする支援に変更する等、収入にはつながらずとも生活の質の向上が見られる支援がきている。今後も利用者の喜びにつながるような支援を職員一同心がけていきたい。

2 実績

(1) サービス内容別提供時間

単位：時間

支援内容/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間数 (年)
身体介護 時間	18.0	18.5	18.3	17.0	19.8	18.3	17.3	15.8	16.3	14.8	13.5	21.5	209.1
生活援助 時間	29.5	27.5	29.5	46.0	52.5	40.5	39.0	41.0	33.5	39.0	42.0	47.5	467.5
同行援護 時間	4.0	2.0	6.5	8.0	3.0	4.0	4.0	4.0	3.0	5.5	4.0	5.0	53.0
令和4年度計	51.5	48.0	54.3	71.0	75.3	62.8	60.3	60.8	52.8	59.3	59.5	74.0	729.6
令和3年度計	41.0	52.5	48.5	37.0	40.5	41.5	36.5	57.0	59.0	56.0	47.5	76.0	593.0

(2) 障害程度区分別利用者数

単位：人

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	延べ
障害程度区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
障害程度区分2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0	12
障害程度区分3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3.0	36
障害程度区分4	3	3	3	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3.2	38
障害程度区分5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1.1	13
障害程度区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
不明・区分なし その他	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0	12
令和4年度計	9	9	9	10	10	9	9	9	9	10	9	9	9.3	111
令和3年度計	7	8	8	8	8	8	9	8	8	8	8	9	8.1	97

糸島市社会福祉協議会志摩ヘルパーステーション（障害居宅介護）

1 総括

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大が数回に渡って見られたが、影響を受けることなく利用者増となった。

障害程度区分5、6の重度の身体障がい者の増加で、身体介護の時間数が倍増した。

新型コロナウイルス感染関係では、通所介護の利用ができない状況の方もあり感染対策を万全に行い、職員に感染者を出すこともなく訪問することができた。介護サービスが利用者の在宅生活の維持に必要な不可欠なサービスであることを再確認することができた。

2 実績

（1）サービス内容別提供時間

単位：時間

支援内容/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間数（年）
身体介護 時間	22.0	42.5	34.5	44.0	43.5	49.5	50.0	49.5	49.0	56.5	52.5	52.5	546.0
生活援助 時間	146.0	145.5	139.0	144.5	140.5	137.0	166.5	145.0	145.0	131.0	152.5	147.0	1,739.5
同行援護 時間	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
令和4年度計	168.0	188.0	173.5	188.5	184.0	186.5	216.5	194.5	194.0	187.5	205.0	199.5	2,285.5
令和3年度計	151.0	158.0	174.5	181.0	178.0	187.0	195.5	194.5	192.5	183.0	186.0	196.0	2,177.0

（2）障害程度区分別利用者数

単位：人

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	延べ
障害程度区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
障害程度区分2	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5.7	68
障害程度区分3	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.3	51
障害程度区分4	4	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	3.7	44
障害程度区分5	3	4	5	4	5	5	4	5	4	4	4	5	4.3	52
障害程度区分6	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1.9	23
令和4年度計	19	20	21	19	20	21	20	21	19	19	19	20	19.8	238
令和3年度計	17	16	18	21	19	20	19	19	20	19	19	19	18.9	226

⑤障がい者生活介護事業

糸島市社会福祉協議会デイサービスセンター（基準該当生活介護）

1 総括

基準該当生活介護においても、デイサービスを長期欠席されていた方の再開への動きが見られ、また新規の利用者も2名あり、前年度よりも利用者・収益増となった。

現利用者の状況としては、登録者数は17名、年齢層は30歳～60歳代となっているが、実利用者数としては13名であり、次年度は介護保険へ移行となる方が2名おられる。今後も障がい相談支援センターの担当者と連携を図り、新規利用者の獲得及び収益の改善に努める。

2 実績

（1）障害程度区分別登録者数及び利用者数（延べ件数）

単位：人

認定区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数		
															月平均	延べ
障害程度区分1	実利用者数															
	延利用者数															
障害程度区分2	実利用者数															
	延利用者数															
障害程度区分3	実利用者数	3	3	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	3	37	
	延利用者数	18	19	19	20	12	20	17	8	13	8	8	15	15	177	
障害程度区分4	実利用者数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	
	延利用者数	26	26	26	25	23	21	26	26	23	19	24	26	24	291	
障害程度区分5	実利用者数	2	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	4	43	
	延利用者数	25	29	38	34	17	26	29	36	29	27	30	37	30	357	
障害程度区分6	実利用者数	3	3	5	5	4	4	5	5	5	3	5	5	4	52	
	延利用者数	43	45	53	59	46	56	59	73	68	70	66	80	60	718	
令和4年度計	実利用者数	10	12	14	14	13	13	14	14	15	11	13	13	13	156	
	延利用者数	112	119	136	138	98	123	131	143	133	124	128	158	129	1,543	
令和3年度計	実利用者数	9	9	10	10	10	10	11	11	11	10	10	10	10	121	
	延利用者数	98	97	102	98	48	88	119	125	110	106	91	116	100	1,198	

*8月は1営業日（8/23）コロナにより閉所し、3営業日（8/24～26）は規模を縮小しての開催。

（2）利用者状況（障害区分、年齢）

単位：人

認定区分	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計
身体障害	0	1	3	2	5	3	14
知的障害	0	0	0	1	0	1	2
精神障害	0	0	0	0	1	0	1
計	0	1	3	3	6	4	17

障がい者生活介護事業所ひまわり

1 総括

令和4年度は入院や入所、死亡により3名の契約終了があったが、2月に1名、3月に1名の計2名新規契約となった。令和4年度は特別支援学校から高等部1年生の実習生が1名あり、卒業後の利用を希望されている。実習先としての問い合わせや見学の希望などの問い合わせも多数あったため、今後も実習生や体験利用の受け入れを積極的に行い利用者獲得を目指していく。

新型コロナウイルス感染症の影響で職員数に厳しい状況が出ることもあったが、家庭内での感染にとどまり事業所内で発生はせず、閉所することなく通常営業を行うことができた。稼働日数は307日で延べ実利用者数は2,231人と令和3年度の2,135人と比較すると微増している。

外部講師による音楽療法も定着しており、今後は毎月の活動内容を充実させ、利用者の満足度向上につなげる。

2 実績

(1) 障害程度区分別登録者数及び利用者数（延べ件数）

単位：人

認定区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
															月平均
障害程度区分1	実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害程度区分2	実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害程度区分3	実利用者数	1	1	1	1	1	1	0	0	1	0	0	1	1	8
	延利用者数	4	5	4	9	9	1	0	0	5	0	0	2	3	39
障害程度区分4	実利用者数	4	3	4	3	3	3	3	3	3	2	4	4	3	39
	延利用者数	25	19	32	20	20	19	17	20	19	18	21	32	22	262
障害程度区分5	実利用者数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
	延利用者数	41	42	45	40	45	35	40	43	32	34	42	42	40	481
障害程度区分6	実利用者数	11	10	10	9	9	10	9	12	10	8	11	11	10	120
	延利用者数	122	127	122	114	129	116	117	128	114	110	124	126	121	1,449
令和4年度計	実利用者数	19	17	18	16	16	17	15	18	17	13	18	19	17	203
	延利用者数	192	193	203	183	203	171	174	191	170	162	187	202	186	2,231
令和3年度計	実利用者数	16	16	16	17	17	17	16	19	18	17	18	17	17	204
	延利用者数	162	167	180	192	177	167	175	191	186	180	171	187	178	2,135

(2) 利用者状況（障害区分、年齢）

単位：人

認定区分/月	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計
身体障害	1	3	2	4	1	0	11
知的障害	0	2	6	0	0	1	9
精神障害	0	1	0	0	1	1	3
計	1	6	8	4	2	2	23

